

## 調査を実施して

2年前、おぼつかない足取りで創刊号を出したモノグラフ「中学生の世界」も、vol.4を刊行するまでに成長することができた。

これまで、vol.1のモノグラフ「学校生活の楽しさに関する考察」に続いて、第2号の「中学生の余暇」、vol.3の「中学生の母親の意識」と、どちらかといえば、概説風なテーマを選んで考察を進めてきた。しかし、モノグラフもvol.4を迎え、熱心に読んでくださる方も増加しているので、この辺で、中学教育の当面しているシリアスな問題にメスを入れたいと思うようになった。

企画段階で「異性との交友」、や「学業不振」などが、テーマにあげられたが、その中で、もっとも深刻な問題と考えられる「非行」を、今回は分析の対象に定めることにした。

さっそく、松丸拳一、渡辺昭雄、柴田泰明、斉藤静孝の4先生に、調査のねらいを話し、調査票の作成を依頼した。この4人は、筆者が主宰する子ども研究のグループである「子どもの行動学研究会」の同人で、過去4年間中学生を対象とした社会調査に熱心に取り組み、その成果を日本教育学会などで発表してきている。したがって、調査研究の基本は、十分にマスターした人々である。

それに加え、4人はともに東京学芸大学の理科の同級生で、それ以後、中学校で生徒指導一筋の生活を送ってきている。松丸さんは野球、渡辺さんは柔道、柴田さんは野球、斉藤さんはバスケットと、それぞれ、10年以上スポーツクラブの監督をやりながら、その過程でいわゆる非行生徒の更生に、全力を注いできた。

そして、時には非行に走った子が立派に立ち直り、教師としての喜びを感じたかと思えば、時には、非行化をくいとめることができず、非力さを味わう。そうした歳月を重ねてきた人々である。

それだけに、本テーマは4人の先生方にとって、研究の対象というより、ご本人たちの生き方そのものを問われる調査だったようだ。

調査結果についての評価は、読者諸氏の判断を待たねばならないが、研究室に暮らす筆者などと異なり、日頃非行と接しているだけに、調査アイテムなどに実践家でなければとらえにくい項目が数多く含まれている。そうした長所をできるかぎり生かしたいという気持ちから、本レポートは、4人の先生方の発想をほとんど手を加えずに作成してある。

本レポートが、4人の先生方と同じように教育現場で非行問題に取り組んでおられる多くの先生方の参考になればしあわせである。最後に、教育産業に携わる責任を痛感され、中学生の意識に立脚した教材作りを目指すために、本調査に援助、協力をいただいた株式会社福武書店社長・福武哲彦氏をはじめ、福武書店の方々に感謝の気持ちを表しておきたい。なお調査実施にあたっては、中学通信教育部指導部長・加藤智禧氏、調査室担当の片山知恵子氏、佐藤雅子氏などの協力を得たことを付記しておきたい。

昭和54年9月

練馬区立三原台中学校教諭  
練馬区立関中学校教諭  
練馬区立大泉中学校教諭  
文京区立第8中学校教諭

松丸拳一  
渡辺昭雄  
柴田泰明  
斉藤静孝

奈良教育大学教授・教育学博士 深谷昌志

# I章 調査の概要



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

## 1 調査の目的

青少年の非行件数は、戦後第3回めのピークを迎えようとしている。非行少年・少女の低年齢化や、集団化、非行の遊戯化等を耳にすることも多い。そして、中学生の自殺や家出は、近年しばしば新聞紙上ににぎわすトピックスの一つとなりつつある。ごく普通の中学校においても、喫煙や盗難等の非行は、かなり日常化してしまっているし、教師たちは、突発する非行事件の度に、授業を自習にしてその処理をしなければならないことも、しばしばである。

非行については、これまでも多くの研究者たちが、多面的な接近を試みている。しかし、生徒指導の当事者である我々教師は、単に、非行生徒そのものについての解明だけでなく、その非行生徒の周辺にいる生徒たち(その中の何人かは、明日にでも非行グループの中に入っていかかもしれない)が、非行や、非行生徒たちを、どう理解し、どのようにそれを受けとめようとしているのか、についての資料がほしいと思ってきた。

特にこの数年、我々は非行生徒でない一般の生徒たちとの間にも、何か、非行感覚の“ズレ”というか、生活感覚の“ズレ”といったものを感じさせられることが多くなってきた。例えば、非行防止のため学区のお祭りを巡回すると、会う生徒のほとんどは「今晚は」という挨拶なしに「先生、何かおごってよ」という言葉を発する。修学旅行や夏季施設などで、夜、異性の部屋をこっそり訪問し、教師に見つかると、お説教は覚悟しているものの、弁解の一部に「どうして大人は変な目で見えるの。私たちは何も悪いことはしていないのに。」と言うなどが、その一例だ。

そうした場を経験する度に、我々は大きな当惑を感じてしまう。そのほかにも、ごく普通の中学生が、非行生徒の使う特殊な単語を使ったり、とっさに見せる行動が、我々にと

って異質なものを感じさせたりすることも多い。普通の中学生と非行生徒との言動の間に、1年ごとに差がなくなりつつあるような気がするのだ。

中学生にとって非行とは何かを、中学生の側から究明し、同時に、我々教師と中学生の非行に関する意識の“ズレ”を明らかにすることが、生徒たちの生活指導や非行防止、または非行生徒への教育指導的接近にも、ぜひ、必要なことではないだろうか。本調査は、我々のこうした問題意識から、企画され、実施されたものである。

## 2 調査票の構成

本調査の調査票の詳細については、巻末に調査票を添付したが、ほぼ、次のような構成になっている。

- ① Face Sheet —— 性別、学年、自己評価など
- ② 中学生の非行認識 —— 非行件数とその発生の地域差について
- ③ 中学生の非行観
  1. 非行の深さについて
  2. 非行化のきざしに対する判断
  3. 非行生徒をどう見るか
- ④ 非行と自分とのかかわり
  1. 親友が非行化したら
  2. 非行の規制力について
  3. 非行に対する周囲の反応
- ⑤ 非行への対策
  1. 非行を誘発するもの
  2. 非行生徒を改善するには

## 3 サンプルの概要

調査対象は、表1に掲げたように、東京都練馬区と、文京区にある4つの区立中学校の生徒、1年生から3年生までの計2,081人である。(表1)

調査時期は、昭和54年5月下旬で、新学年、新クラスの緊張がやや薄れてきた時期に行った。なお、調査対象者のうち、実際に非行生徒によって何らかの被害を受けた経験のある者は、335人、全体の16.1%にもなっている。

表1 サンプル

(単位：人)

学年	性別	男子	女子	計
1年		419	327	746
2年		335	285	620
3年		360	355	715
計		1,114	967	2,081

## II章 中学生の非行認識



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

青少年の非行の増加と、低年齢化が心配されている。いわば、その渦中にある中学生たちは自分が非行化していないにせよ、一般的な非行の実態をどのようにとらえているのだろうか。我々教師や親の目にふれず、生徒たちだけが仲間内で見聞していたり、警察の補導からも逃れて目につかない非行も多いことであろう。ここでは、まず、調査対象の中学生たちが持つ、非行実感の概略を3つの表からとらえてみたい。

まず、表2は「マスコミで問題にされているより、実際の非行の方が多いと思うか、少ないと思うか」をたずね、5段階で評定させた結果である。彼らがどの程度マスコミの情報に接しているのかはわからないが、マスコミの報道よりも実際の非行の方が「かなり・もう少し多い」と思っている者は、60.8%。逆に、「もう少し・かなり少ない」と思っている者は、15.2%で、彼らのもつ非行実感は、我々大人のそれよりも、かなり高い様子がうかがえる。

次に、表3は「非行生徒から被害を受けた中学生が、100人のうち何人ぐらいいると思うか」とたずねた結果である。被害者の人数を「0～11人」と回答しているものは76.2%、「12人以上」が23.8%。サンプルの紹介で記したように、実際の被害者数、16.1%に比べると、中学生の予想した被害者数は、若干少なめであるが、ほぼ、実情にそった数字と考えてよからう。

次に、表4は、今後の非行件数の趨勢<sup>イロ</sup>についての、彼らの予測を示すものである。「あなたの地域で、今後の非行は」とたずねられて「増加する」と答えた者は、63.0%、逆に、「減少する」と答えた者は、9.9%。彼らは圧倒的に非行増加の見通しを持っていることがわかる。

さらに、非行の発生件数や、非行の種類と地域との関連についても、生徒たちの考えをのぞいてみよう。

表5は「喫煙、万引き、家出、暴力行為、自殺」などよく話題にされる非行をとり上げ、それぞれについて、その発生率の予想をたずねたものである。表が示すように、どの種類

**表2 マスコミ報道と非行実態の実感差**

—実際の非行はもっと多いだろう— (%)

かなり多い	もう少し多い	同じくらい	もう少し少ない	かなり少ない
25.6	35.2	24.0	11.3	3.9
60.8			15.2	

**表3 被害者数の予想(中学生100人のうち)**

(%)

0～2人	3～5人	6～8人	9～11人	12人以上
13.7	24.0	23.4	15.1	23.8

**表4 これからの非行件数の予想**

—非行は増えるだろう— (%)

かなりふえる	ややふえる	いとと同じ	ややへる	かなりへる
17.2	45.8	27.1	7.5	2.4
63.0			9.9	

**表5 非行生徒人数の予想(中学生100人のうち)**

—都市に圧倒的に多いだろう— (%)

		0～2人	3～5人	6～8人	9～11人	12人以上	
①	自殺を考えたことのある中学生は	都市	14.4	10.8	13.0	14.5	47.3
		田舎	33.0	24.3	15.6	11.5	15.6
②	タバコをすったことのある中学生は	都市	11.6	17.2	17.8	15.3	38.1
		田舎	39.4	26.3	14.7	10.4	9.2
③	万引をしたことのある中学生は	都市	10.4	18.8	20.6	18.8	31.4
		田舎	33.7	30.8	18.8	9.8	6.9
④	他の生徒をおどしたり、暴力をふるったことのある中学生は	都市	10.4	20.0	21.8	19.5	28.3
		田舎	30.3	30.4	19.1	11.2	9.0
⑤	家出をしたことのある中学生は	都市	24.5	23.5	18.6	14.6	18.8
		田舎	30.7	26.5	18.1	13.2	11.5

の非行も、生徒たちは、圧倒的に都市に多い現象と考えている。

しかし、おもしろいのは、彼らが、地域によって、その非行の種類が違う、と考えている点だ。すなわち、田舎に多い非行は、①自殺、②家出、③暴力行為、④万引き、⑤喫煙、の順位になっているが、都市では、田舎での1位の自殺と、2位の家出の間に、下位の3つのタイプが、わり込んできて①自殺、②喫煙、③万引き、④暴力行為、⑤家出、となっている。つまり、喫煙、万引、暴力行為は、都市型の非行であると、彼らは判断しているのだらう。

# III章 非行に対する見方



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

本章では、中学生が「非行そのもの」をどう見ているか、また、「非行生徒」をどう見ているか、を2本の柱として、分析することにしよう。

## 1 「非行そのもの」の見方

### (1) 非行の程度

一般の生徒たちの非行感覚が、だんだんとマヒしつつあるのではないか、非行に対する判断が甘くなってきたのではないか、という我々の印象については、すでに述べた。こうした印象が必ずしも誤っていないことを示すのが図1である。

これは、図に掲げたような10項目の行為について、そうした行為を実際にしている中学生が、非行生徒の範ちゅうに入るかどうかを判断させたもので、非行生徒だと「とても思う」から「全く思わない」までの5段階で、判断させてある。この10項目は、警察の補導係が青少年補導の対象としている行為のうち、中学生に比較的多く見出される種類のものである。

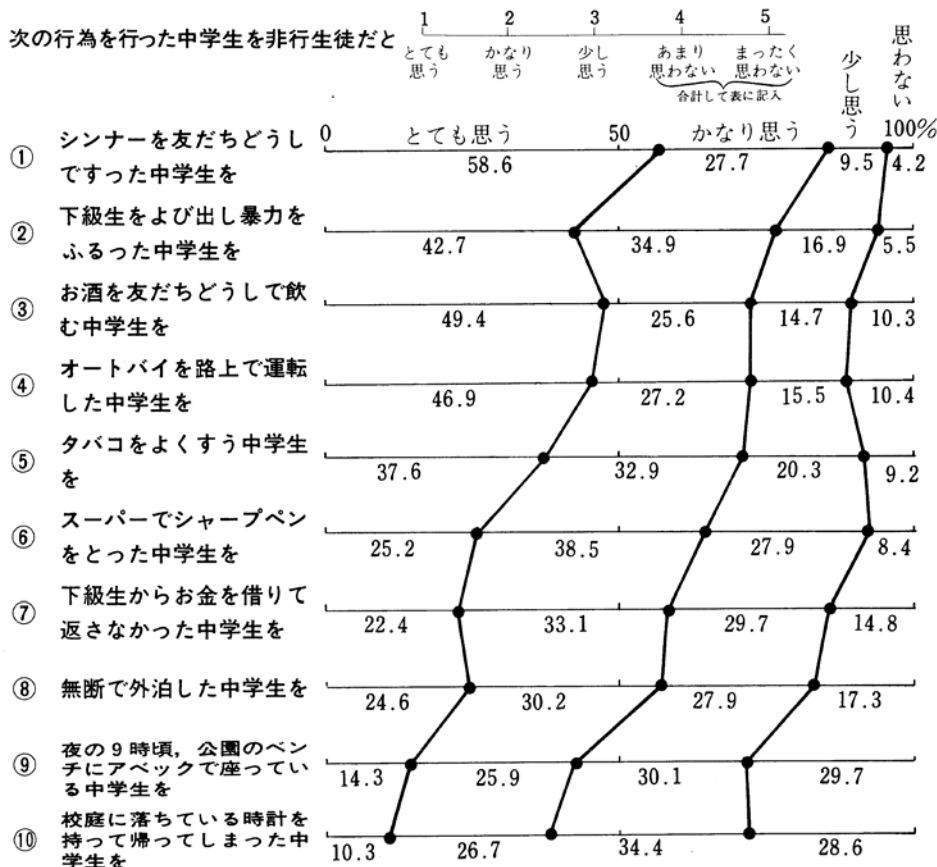
この図によると、全体的に、生徒たちの非行感覚にはかなりの甘さがある。もう少し正確に表現するなら、非行に対する感覚の甘い生徒が増加しているように思われてならない。

まず、上位の5項目、①シンナー、②暴力行為、③飲酒、④オートバイの無免許運転、⑤喫煙、などについての生徒たちの目は厳しく、7割以上が、「とても・かなり非行生徒だと思う」と答えている。しかしこれらについても、逆に「少し(だけ)非行生徒だと思う」または、「ほとんど・全くそう思わない」と答える生徒が、それぞれ、14~30%も、いることになることにまず気づく。この数字は、我々には予想外に大きいもののように思われる。

そして、第二に気になるのは、6位「スーパーでシャープペンをとった中学生」以下になると、急に上記の「たいしたことはない」と軽く考える生徒が増加してくる点である。特に、「アベックで、夜、公園にいる中学生」、落とし物とはいえ「時計を持って帰った中学生」について、これを重大視しない生徒は、前者、約60%、後者、63%にもなる。こうした非行感覚の甘さは、いわば、非行生徒多発の下地になってはいないだろうか。

図1 次の行為をした中学生はどの程度の非行生徒か

——シンナー・暴力・飲酒・無免許運転を重視——



## (2) 非行のきざしをどのように見ているか

ここでは、本調査のデータを紹介する前に、表に掲げた非行化のきざしについて、少し補足しておこう。

非行生徒のグループを見ると、普通の中学生と比べて、全体にどこか違った雰囲気を感じられる。むろん、ただ1人だけいているのを見ても、何やら感じが違うものである。髪が、整髪料を使ってあまりにもきちんとしすぎている、白い細身のベルトが黒いズボンに際立っていたりなど、普通とは違うところでのおしゃれがまず目につくが、そのような外見だけではなく、些細な行動にも違いが見られる。

多くの非行生徒には「目立ちたい」が「努力する」ことは嫌い、という二面性があるように思われる。努力してその結果を待つというのではなく、安易な手段で目立ちとうとする。そのあらわれが、彼らの独特の「服装、行動」ということだろうか。その中で、服装・髪型等の外見に関することは、警視庁から発表された「非行のきざし」を後で紹介するとして、ここでは主に行動面についてふれよう。

まず、姿勢自体に特徴がある。本人は直立不動の姿勢をとっているつもりでも、背骨のあたりの力が抜けているようで、しまらない。姿勢を気にしないときは、なおさら、グニャットした感じになる。そのくせ、虚勢をはり、肩で風を切って歩こうとするので、肩が前に出て、足を投げ出すようなおかしな歩き方になる。

彼らの中には、勉強は嫌いだが運動は好き、という者がいる。好きでやることだから、体育の授業はうまくいっているかという、そうではない。やはり、どこかおかしいのである。例えば、体操着にしても、彼らは、学校で決められたものとは、どこか違ったものを、わざわざ買ってくる。ズボンに3本の線が入っているものが指定されていれば、わざわざ、1本しか入っていない体操着を買ってくる。また、いっせいで行動ができず「気をつけ」の号令がかかっても、なかなかその姿勢がとれない。行進中に、前の者をつついていたずらしたり、ちょいちょい後ろをふり返ったりなど、自分勝手ないたずらが多い。

さらに、もっと目立つことは、運動に対する姿勢そのものが、投げやりで、動きに連続性がないことだ。例えば、サッカーをやらせても、ボールを自分からとりに行くことが少ない。偶然飛んで来たボールを蹴るだけで「行く先はボールにきいてくれ」といった態度なのである。運動クラブに入っても、熱心ではなく、転部・退部する者が多い。

授業では、筋道を追ってついてくることがない。たまに、ある箇所で関心を示すことはあるが、たいていは、ほとんど無関心。教科書すら持って来なくなる。言い訳や反発が増え、自分の都合のいいことは主張するが、不都合なことは無視するようになる。

また、所持品や服装が、しばしば変わる生徒がいる。学生服も、エリの高いものやすその長い中古品をある日突然着て来たり、通学カバンがいつの間にか見なれないものになってしまうので、たずねてみると「先輩にもらった」「友だちに借りた」という答えが返ってくるのである。そのほか、上履きの靴にいたずら書きをしたり、セーラー服のネクタイを短く結んだり、時期はずれにカーディガンを着たりなど、とにかく、どこか普通の生徒と、変わった様子をしたがるのである。

さらに、遅刻、早退、当番をさぼることが常習となり、保健室の利用が増えていく。保健室の利用回数が増えるのは、日頃の不規則な生活からくる身体の不調もあろうが、それだけでなく、普通なら我慢してしまう程度の軽い症状で、診てもらいに来るのである。外見では、これといった症状は見られないのに、本人が「気分が悪い、頭が痛い、腹が痛い」と訴えるので、教室に戻すこともできず困ってしまう。かつて我々は、保健日誌をチェックし、保健室の利用回数の多い生徒をピックアップして調べたところ、かなりの者が、シンナーを使用していた事実が浮かび上がってきた経験をもっている。ついでにこのシンナーの常用は、中学生の非行のうち、始末のわるいものの一つで、シンナー常用者は気力がなく、どこか不潔感が見られ、ツバをよく吐く。以前はよく、黄色くシンナーのこびりついたビニール袋が、便所や体育館の裏などに落ちていたことがあった。しかし、非行にも流行があるようで、シンナーについては近頃、我々の学校ではほとんど見かけなくなっているが……。

ここで、非行生徒に多い服装、髪型について、昭和50年に警視庁で発表した「服装などからみた非行化のきざし」の説明図から、特徴を拾ってみよう。

男子では「パーマ、長いもみあげ、ネックレス、高いエリ、丈の長い上着、太いズボン、黒い革靴、かかとをふみつぶしたズック靴、ペチャンコにつぶしたカバン」等であり、女子では「パーマ、染色した髪、アイシャドウ、口紅、眉をそって描く、ピアス（耳に穴をあけてするイヤリング）、指輪、胸元を広くあけたセーラー服、長いスカート、底の平らな靴、お守りをつけたり、ワッペンを貼ったカバン」等があげられている。しかし、これらには、流行があって、その時々で変化しやすい。

さて、データの分析に移ろう。まず表6は、我々が非行化のきざしと考えている15項目



をあげ「このようなことをする中学生は、非行生徒になる可能性があると思うか」をたずねた結果である。これによって、非行化のきざしを、どの程度に見ているのかを知ろうとしたものだ。

表の項目は、中学生が見て非行生徒になる可能性が高いと思う順に並べてある。この順位は、我々のほぼ予想どおりであったが、意外に思われる順位が2つあった。「⑧授業中にガムをかむ」はもっと下位に、「⑬ペチャンコにつぶしたカバン」はもっと上位にランクされるのではないかと予想していたのである。

次に、項目を追ってみると「①口紅・マニキュアをつける」「③髪にパーマをかけ、染色」「④ひたいにソリ」「⑤太いズボンや長いスカート」などのように、非行化のきざしとして、彼らはまず外見を重視している。そして、「⑥ずる休み」以下は、主に行動面に関する

表6 次のようなことをしている中学生は  
非行生徒になる可能性はあるだろうか

——外見の判断に頼っている——

(%)

項目 順位	非行生徒になる可能性がある	とても 思う	かなり 思う	少し 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
①	遊びに行くとき、口紅・マニキュアをつける中学生を	37.7	27.7	20.1	10.0	4.5
		└ 65.4 ─┘		└ 34.6 ─┘		
②	夜の9時頃まで街をぶらつく中学生を	35.7	29.3	21.0	9.7	4.3
		└ 65.0 ─┘		└ 35.0 ─┘		
③	髪にパーマをかけたり染めたりしている中学生を	29.1	32.2	26.8	8.6	3.3
		└ 61.3 ─┘		└ 38.7 ─┘		
④	ひたいにソリを入れている中学生を	25.7	28.8	25.0	13.8	6.7
		└ 54.5 ─┘		└ 45.5 ─┘		
⑤	太いズボンや長いスカートで登校する中学生を	21.2	27.5	29.9	15.7	5.7
		└ 48.7 ─┘		└ 51.3 ─┘		
⑥	ずる休みをする中学生を	19.9	27.5	31.2	15.9	5.5
		└ 47.4 ─┘		└ 52.6 ─┘		
⑦	評判のよくない卒業生とつきあっている中学生を	16.4	27.7	33.2	16.8	5.9
		└ 44.1 ─┘		└ 55.9 ─┘		
⑧	授業中、こっそりガムをかむ中学生を	18.7	23.5	34.6	16.8	6.4
		└ 42.2 ─┘		└ 57.8 ─┘		
⑨	いたずら電話をかける中学生を	12.9	23.0	31.1	22.1	10.9
		└ 35.9 ─┘		└ 64.1 ─┘		
⑩	学校のをこわす中学生を	11.0	18.3	30.6	28.9	11.2
		└ 29.3 ─┘		└ 70.7 ─┘		
⑪	金づかいのあらい中学生を	9.1	17.0	31.3	31.0	11.6
		└ 26.1 ─┘		└ 73.9 ─┘		
⑫	無断で友だちの体操着を借りる中学生を	7.6	17.2	31.1	30.1	14.0
		└ 24.8 ─┘		└ 75.2 ─┘		
⑬	ペチャンコにつぶしたカバンで登校する中学生を	7.1	10.7	37.3	35.2	9.7
		└ 17.8 ─┘		└ 82.2 ─┘		
⑭	たいして悪くないのに保健室に行く中学生を	3.4	8.2	28.1	42.1	18.2
		└ 11.6 ─┘		└ 88.4 ─┘		
⑮	よく遅刻する中学生を	2.9	6.3	22.8	45.4	22.6
		└ 9.2 ─┘		└ 90.8 ─┘		

る項目であるが、非行化のきざしとしては外見より軽く見られているようだ。もっとも、特殊な服装や髪型のひとつずつが、いわば非行生徒の看板のようなものであるのに対して、行動は、いくつかのものが重なって非行生徒の姿が浮かび上がってくるのであり、ひとつずつに分離された行動を提示されても、単に、個人の悪癖としか考えない者が多いのは、当然かもしれない。

さて、ここでも、非行化すると「少し思う」者と、「あまり、全く思わない」者を含めて、非行化のきざしを「軽く考えている生徒」とみなし、その数字を拾ってみることにしよう。「①口紅やマニキュア」は34.6%、「②夜の9時頃まで街をぶらつく」は35.0%、「③髪にパーマや染色」は38.7%で、これらの重要な手がかりを、非行化とはさして結びつけない生徒もけっこう多いのに、驚かされる。

## 2 非行生徒に対する見方

一般の中学生が、非行そのものにかなり甘い評価をしていることがわかってきた。そこで次に、中学生は非行生徒という「人間」をどう見ているのかを、「非行生徒の心情への理解」「非行生徒に対する感情と評価」「非行生徒の特性評価」の3つの側面から分析してみることにしよう。

### (1) 非行生徒の心のうちは

教師にとって、非行生徒は、常に気になる存在である。「また、何か悪いことをしているのではないか」「また、ふてくされているのではないか」と、いつも心のどこかにひっかかっている。そして教師は、いままでの経験に照らして、小さな非行のきざしでもついつい注意をすることになる。しかし、この注意は、彼らにとってうさだけで、さしたる効果は上がらない。こうした注意が、遅刻とか、当番をさぼったとかの小さなことであれば「他の生徒もやっているのに、いつも俺ばかり注意する」ということになる。もう少し大きなこと、例えば、太いズボンをはいて来たので注意をしたとする。もちろん、そのままはき続ける生徒もいるが、多くの者は、一応翌日、はきかえてくる。しかし、変わった服装をしたい気持ちが強いので、次には、長い上着を着て来たりする。そして、「太いズボンはいけないといわれたから、やめたんです」……このような繰り返しが、教師と非行生徒の間に延々と続くのである。

さて、表7は、「非行生徒は、毎日をどんな気持ちで過ごしていると思うか」という質問で、非行生徒の心のうちを推測させた結果である。生徒たちが、非行生徒の気持ちの中に、「強くある」と思っている項目順に並べてある。

項目を追ってみよう。非行生徒は、「①たいして悪いことでもないのに、すぐ先生がおこると思っているだろう」と、とらえている者が「とても、かなり思っているだろう」を合わせて56.5%、「②中学校を早く卒業したいと思っている」は54.7%、「③何をやっても変な目で見られると思っている」54.4%、「④自分のことだから、かまわなくてもいいと思っている」50.8%と、この4つの項目が、50%を越えている。これらの4項目を総合すれば、中学生は、非行生徒が学校生活に束縛感・被差別感を抱いていると思えることがわかる。

また、第5位「⑤自分のことをもっとわかってもらいたい」以下の項目は、この数字が50%を割り「⑩心の中で、まじめになりたい」は29.0%にも減少してしまう。しかし本当に非行生徒たちは、一般の中学生が考えているように、心の中でまじめになろうとは思っていないのだろうか。

我々教師が、非行生徒と、しばしば中学校卒業後の進路や、なぜまじめになれないのか

表7 非行生徒の気持ちを推測すると

—まじめになりたいとは、あまり思っていないと思う—

(%)

		とても思 っている だろう	かなり思 っている だろう	少し思っ ているだ ろう	あまり思 っていない だろう	まったく思 っていない だろう
①	たいして悪いことでもないのに、 すぐ先生がおこると	23.0	33.5	27.3	11.2	5.0
		└ 56.5 ─			└ 16.2 ─	
②	中学校をはやく卒業したいと	24.8	29.9	26.9	13.7	4.7
		└ 54.7 ─			└ 18.4 ─	
③	何をやっても変な目で見られ、 差別されていると	23.6	30.8	25.3	14.0	6.3
		└ 54.4 ─			└ 20.3 ─	
④	自分のことだから、かまわない でもらいたいと	22.2	28.6	27.8	15.4	6.0
		└ 50.8 ─			└ 21.4 ─	
⑤	自分のことをもっと、わかって もらいたいと	22.1	25.3	26.3	18.2	8.1
		└ 47.4 ─			└ 26.3 ─	
⑥	みんなは、きゅうくつな生活を よく我慢していると	18.1	28.2	29.0	17.6	7.1
		└ 46.3 ─			└ 24.7 ─	
⑦	高校に入りたいと	14.7	24.4	30.6	21.2	9.1
		└ 39.1 ─			└ 30.3 ─	
⑧	自分がやっていることは、たい して悪くないと	15.5	24.2	29.4	19.9	11.0
		└ 39.7 ─			└ 30.9 ─	
⑨	非行グループの中だと安心 できると	12.3	22.0	28.9	25.9	10.9
		└ 34.3 ─			└ 36.8 ─	
⑩	心の中ではまじめになりたいと	11.8	17.2	32.7	27.1	11.2
		└ 29.0 ─			└ 38.3 ─	

等話し合った経験からすると、大部分の非行生徒は、内心、高校進学を希望しているのだが、自分の現実の成績・行動を考えると、正面切って公言できない、というのが実情である。3年2学期末に、いよいよ高校進学を断念しなければならなくなった非行生徒が暴れて、より非行の深みにはまっていくケースも多いのである。

また、彼らは「まじめになりたい」ということを、しばしば面接のプロセスで口にする。しかし、そのあとすぐに「だけど、みんなはそう見てくれない」とか「だけど、やっても（勉強が）わからないんだよな」という言葉が続くのだ。

しかし、そうした非行生徒の心情は、この表で見ると、クラスメートたちにはあまり理解されていないことがわかる。これはなぜだろうか。

教室で見ると、普通の中学生と非行生徒との接触は、スムーズである。あだ名で呼び合い、時には冗談を言い合い、気楽に過ごしているように見える。非行生徒を特別視したり敬遠したりしている感じは受けない。しかし、おそらく非行生徒たちと、一般の生徒たちは、同じクラスにいても表面的でさしさわりのない接触に終始し、友人としてその心情をくみとることのできるほどの心のふれ合いは成立していないのが実情なのであろう。

一般の生徒たちは、内面では、非行化傾向のある仲間を特別視し、真に自分の仲間ではないとする構えがあり、それが目に見えない壁となって、両者の間をへだてているのではなかろうか。そして、こうした壁の存在が実は非行生徒たちをクラスから遠ざけ、非行仲間へと接近させる一つの条件となって働いているのかもしれない。この点を示すデータは、

また後に掲げることしよう。

## (2) 非行生徒に対する感情

前項で、非行生徒とよばれる生徒たちの心情を、あまりよく理解していない生徒たちの姿が浮かび上がってきたが、それではさらに、こうした非行仲間を彼らはどう評価しているのか。多少とも、自分たちの入っていけなかった世界に入ってしまった「勇気ある」仲間として、羨望や畏敬にも似た気持ちを抱くことがあるのか、それとも、全く価値のないダメな奴、として軽蔑の念を抱いているのだろうか。

表8は「うらやましい」「かつこいい」「楽しそう」「かわいそう」「にくたらしい」「ばかみたい」の6つの形容詞を提示し、そうした気持ちが「とてもある」から「全くない」まで5段階評価させた結果である。

まず、そうした気持ちが「あまり・全くない」と否定している者の割合を見ていこう。非行生徒を「あまり・全くうらやましいと思っていない」のが、91.1%、「かつこいいと思っていない」のが、85.9%、「楽しそうと感じていない」のが、84.6%と、いずれも大きな割合を示す。むろん、非行生徒を「うらやましい、かつこいい、楽しそう」と評価する者がいないわけではない。しかし、「とても・かなりある」との反応は、いずれも、5%内外でしかない。青年期的な心理的特性から、彼らへの支持がもっと高まるのではないかと予想していた我々に、この数字は意外でもあったし、内心どこかで、ほっとさせられ

表8 非行生徒に対する気持ち

—ばかみたい—

(%)

非行生徒に対する 次の気持ちは	とても ある	かなり ある	少し ある	あまり ない	まった く ない	平均値
①うらやましい	2.0 └ 3.4 ─	1.4	5.5	18.2 └ 91.1 ─	72.9	4.59
②かつこいい	3.0 └ 5.5 ─	2.5	8.6	20.6 └ 85.9 ─	65.3	4.43
③楽しそう	3.3 └ 6.3 ─	3.0	9.1	23.7 └ 84.6 ─	60.9	4.36
④かわいそう	12.7 └ 24.8 ─	12.1	23.4	24.4 └ 51.8 ─	27.4	3.42
⑤にくたらしい	16.4 └ 29.4 ─	13.0	20.4	28.2 └ 50.2 ─	22.0	3.27
⑥ばかみたい	32.6 └ 47.7 ─	15.1	16.9	17.0 └ 35.4 ─	18.4	2.73

たのも事実である。

ところが、こうした否定率の高さにしては表の下位の「かわいそう」「にくたらしい」に対する賛意がそれほどないのがおもしろい。つまり「うらやましいとは思わない」からといって、それがストレートに「かわいそう」「にくたらしい」などの感情に、直接にはつながらないのである。その理由は、最下位の「ばかみたい」に対する賛意が「とても・かなり」で、47.7%、「少し」を入れると、64.6%にも達することがよく示しているようである。つまり、非行生徒の存在は、自分たちの理解や共感のワク外のことであり、まさに「ばかみたい」で、これを「かわいそう」とか「にくたらしい」と正面切って非難したり、軽蔑したりする気すら起きない、というところなのではなからうか。いずれにしても、一般の生徒たちと非行生徒との心理的距離は、かなり遠いものようである。

### (3) 非行生徒の特性

非行生徒と、表面的にはスムーズにつき合っているように見える中学生たち。しかし、学校での各場面でも少し注意して見ると、その心理的な距離が遠く、些細な点では特別視しているように思われることがある。非行生徒に、給食の盛りつけを勝手に多くしたり、掃除当番をさぼるなどの不当な行為があっても、一般の生徒たちは文句を言うことが少ない。非行生徒が授業に遅刻して教室に入って来ても、さして気にとめている様子も見られないなどが、その例である。

それでは、中学生は非行生徒にどんな心理的、行動的的特性があると見ているのだろうか。表9は「あなたは、非行生徒を普通の中学生と比べて、次のようなことがどのくらいあると思いますか」と質問した結果で、「団結力」から「コツコツ努力する」までの7項目を列挙してある。

中学生は、日常、非行生徒が常にグループで行動しているのを見ているので「団結力」「行動力」等には高い評価を与えるだろうと、我々は予想していたのだが、結果はさほどでもなかった。表に示されたように、この2つの特性については「ある」と「ない」との評価がほぼ等しく、4割強になっている。

表9 非行生徒の特性——克己心がない——

非行生徒をふつうの中学生とくらべると	1 2 3 4 5 (%)					平均値		
	とてもある	まあある	同じ	あまりない	とてもない	全体	1年	3年
① 団結力は	18.4	24.1		27.5	13.2	2.93	3.23	> 2.58
	└─42.5─┘		16.8	└─40.7─┘				
② 行動力は	17.4	23.9		26.9	14.6	2.97	3.24	> 2.72
	└─41.3─┘		17.2	└─41.5─┘				
③ 友だちを大切に する気持ちは	10.9	15.0		33.8	16.6	3.30	3.59	> 2.93
	└─25.9─┘		23.7	└─50.4─┘				
④ やさしさは	7.4	16.9		34.5	17.9	3.39	3.64	> 3.03
	└─24.3─┘		23.3	└─52.4─┘				
⑤ がまん強さは	6.1	12.5		42.7	30.2	3.79	3.79	> 3.74
	└─18.6─┘		8.5	└─72.9─┘				
⑥ 責任感	4.6	6.5		34.5	44.3	4.07	4.19	> 3.92
	└─11.1─┘		10.1	└─78.8─┘				
⑦ コツコツ努力することは	3.5	5.5		39.1	44.4	4.15	4.17	> 4.06
	└─9.0─┘		7.5	└─83.5─┘				

それ以外は、ぐっと肯定率が低下する。彼らの団結力を支えるはずの「友だちを大切に  
する気持ち」「がまん強さ」「責任感」「努力」など、いずれも、否定率が肯定率をはるかに上回る。特に、「がまん強さ」「責任感」「努力」は、7割以上の生徒に否定されており、ふだんの非行生徒たちの投げやりな態度を生徒たちがよく観察していることがわかる。

ここで、こうした評価についての学年差を見てみよう。表9の右に掲げた平均値が示すように、いずれの項目でも、1年生の方が3年生より評価が低くなっている。学校生活が長くなるほど、身近に非行生徒を見聞することとなるのだが、そうした経験はある種の人間理解の目を生徒たちに開かせるのだと解釈することもできようし、逆に、学年を追って非行感覚が鈍化してくると解釈できるかもしれない。

### (4) 逸脱行為に対する許容度

前節で、1年生と3年生では非行生徒の特性の評価が異なり、1年生の方が非行生徒を

見る目が厳しいことを述べたが、このように低学年の方が高学年より見方が厳しいのは、「非行そのもの」についても「非行生徒」についても言うことができそうである。

このような、非行に対する判断の厳しさ（逸脱行為の許容度）は、他にどのような要因によって規定されるのだろうか。

ここでは、生徒たちの欲求不満の有無と、自己評価（勉強の成績）、流行への敏感さの3つの要因をとって、これらと逸脱行為に対する許容性の度合い、またはあこがれを見てみることにしよう。すなわち「自分の家に対する不満」「流行に対する敏感さ」「勉強の成績の良し悪し」の項目によって生徒たちを各々5グループに分け、その各グループが「中学生の喫煙」（図1の⑤）、「非行生徒のかっこよさ」（表8の②）をどう見ているのかを明らかにしていきたい。そのうち「中学生の喫煙」で非行に対する厳しさ、「非行生徒のかっこよさ」で非行に対するあこがれの程度がわかるといったからである。

### ①自分の家に対する不満度では？ 流行に対する敏感さでは？

表10は、自分の家に対する不満度をもとに、表11は、流行に対する敏感さをもとに、それぞれサンプルを5グループに分け「中学生の喫煙」「非行生徒のかっこよさ」をどのよう

表10 「自分の家に対する不満」と「喫煙」、「かっこよさ」

		タバコをよくする中学生を非行生徒だと					喫煙についての平均値	非行生徒をカッコいいと思う平均値
		1 とても思う	2 かなり思う	3 少し思う	4 あまり思わない	5 まったく思わない (%)		
自分の家に対する不満	とてもある (N=122)	29.5	26.2	13.9	14.8	15.6	2.61	3.61
	かなりある (N=135)	30.4	34.8	18.5	12.6	3.7	2.24	4.20
	少しある (N=537)	31.1	34.6	25.9	6.7	1.7	2.13	4.30
	あまりない (N=755)	35.9	36.4	20.8	6.1	0.8	1.99	4.48
	まったくない (N=504)	50.3	27.2	16.1	4.0	2.4	1.81	4.70

非行生徒をカッコいいと思う尺度

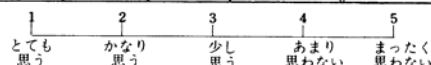
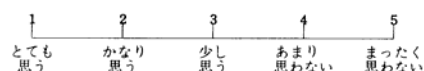


表11 「流行に対しての敏感さ」と「喫煙」、「かっこよさ」

		タバコをよくする中学生を非行生徒だと					平均値	非行生徒をカッコいいと思う平均値
		1 とても思う	2 かなり思う	3 少し思う	4 あまり思わない	5 まったく思わない (%)		
流行に対する敏感さ	とても敏感 (N=125)	34.4	23.2	22.4	8.0	12.0	2.40	3.78
	かなり敏感 (N=260)	37.0	31.5	19.2	8.8	3.5	2.10	4.14
	少し敏感 (N=803)	34.1	35.6	22.4	6.2	1.7	2.06	4.45
	あまり敏感でない (N=662)	37.4	34.9	20.7	5.9	1.1	1.98	4.58
	まったく敏感でない (N=193)	54.9	23.8	10.9	7.3	3.1	1.80	4.65

非行生徒をカッコいいと思う尺度



に見ているかを示したものである。表の見方を簡単に説明すると、自分の家に不満が「とてもある」中学生が122名、その中で、タバコをすっている中学生を非行生徒だと「とても思う」者が29.5%、「かなり思う」者が26.2%、「少し思う」者が13.9%、「あまり思わない」者が14.8%、「全く思わない」者が15.6%。そしてこれらの平均値が、2.61となっている。「非行生徒のかっこよさ」については、煩雑さを避けて平均値のみを掲げてある。平均値の推移に注目してみよう。

「中学生の喫煙」に関する平均値は、表10、表11、ともに、下から上に行くに従い、増加し「非行生徒のかっこよさ」の平均値は逆に減少している。家庭に不満がある者ほど、そして、流行に敏感な者ほど「中学生の喫煙」を悪いとは思わない者が増え、それと比例する形で「非行生徒をかっこいい」と思う者が増加している。なお、このような関係は、「非行の程度」(図1)の全項目についての気持ちでも、さらに、「非行生徒を見ての気持ち」(表8)の「①うらやましい」「②かっこいい」「③楽しそう」の3項目についてあてはまるようである。

## ② 勉強の成績では？

次に、勉強の成績と非行に対する評価との関連を考察しておこう。

まず、表12によると、タバコをすう中学生を非行生徒とみる割合は、成績の不振ぎみな生徒では、29.9%にすぎないが、成績が上がるにつれて非難する割合が高まり、とても成績のよい生徒になると、49.5%、つまり、2人に1人が非行生徒だとみなしている。この傾向は「非行の程度」(図1)の全項目についてみられる。これは非行の程度を、成績の悪い者だけが甘く見て、その他は同程度に判断していることとなる。

表12 「勉強の成績」と「喫煙」、「かっこよさ」

		タバコをよくすう中学生を非行生徒だと(%)					平均値	非行生徒をかっこいいと思う平均値
		1 とても 思う	2 かなり 思う	3 少し 思う	4 あまり 思わない	5 まったく 思わない		
勉強の成績	悪い (N=187)	29.9	29.9	19.9	11.2	9.1	2.40	4.10
	やや悪い(N=402)	33.6	33.8	23.4	7.7	1.5	2.10	4.27
	ふつう (N=1289)	38.3	32.9	21.1	6.2	1.5	1.99	4.53
	ややよい(N=264)	41.3	38.6	14.0	3.4	2.7	1.88	4.55
	よい (N=194)	49.5	23.3	15.5	6.8	4.9	1.94	4.21

非行生徒をかっこいいと思う尺度

1 2 3 4 5  
とても かなり 少し あまり まったく  
思う 思う 思う 思わない 思わない

表13 [勉強の成績]と[非行生徒をみての気持ち] (平均値)

		非行生徒をみての気持ち					
		①うらやましい	②かっこいい	③楽しそう	④かわいそう	⑤にくたらしい	⑥ばかみたい
勉強の成績	悪い (N=187)	4.31	4.10	4.01	3.50	3.42	3.14
	やや悪い(N=402)	4.50	4.27	4.22	3.45	3.33	2.86
	ふつう (N=1289)	4.66	4.53	4.47	3.43	3.28	2.71
	ややよい(N=264)	4.70	4.55	4.48	3.25	3.19	2.51
	よい (N=194)	4.28	4.21	4.09	3.40	2.81	2.27

しかし、同じ表12の右側「非行生徒のかつこよさ」に対する評価では、勉強の成績がよいと自己評価したグループの平均値は、成績の悪い者のそれに近似し、その他のグループの平均値をはさむかっこうになっている。単純に考えると「非行生徒はかつこいい」と思うのは、成績のよいグループと、反対に成績の悪いグループということになる。この「成績がよい者」の結果に興味をもったので、「非行を見ての気持ち」（表8）の全項目について平均値を算出し、表13を作成してみた。

表から明らかなように「①うらやましさ」「②かつこよさ」「③楽しそう」の平均値は、成績のよい者と悪い者のグループで近似しているが、「⑤にくたらしい」「⑥ばかみたい」の平均値では、成績のよい者のグループが最小値を示している。つまり、成績のよい生徒たちは、非行化している生徒を、かつこよく、うらやましく思う反面、ばかみたいなことをする奴、という目でみつめている。このあたりに「ちょっとうらやましいが、ぼくはあんなばかかなことはしない」というような、成績のよい子たちの微妙な気持ちが、にじみ出ているように思う。

## (5) 非行化の原因

ある中学生が非行化した場合、その原因として「学力が低い」や「両親が甘やかした」などがあげられることが多い。しかし、それらは、中学生の非行化を促進する大きな要因のひとつであって、それだけがすべてとはいえない。もし、そうであるなら、学力の低い者はすべて、また、親から甘いしつけを受けた者はすべて非行生徒になってしまうからである。つまり、いくつかの要因が複合し合って、非行に走りやすい素地をつくりあげていく。その中で特に強く作用する要因を大づかみにすると上記の「学力が低い」「両親が甘やかした」の2つにまとめられるのかもしれない。

それはともあれ、我々が接してきた中学生の中で、非行化した者が、どんな生徒だったのか。教師の側から見た、主観的な印象を書いておこう。なによりもまず、性格のかたよりが大きかった者、次いで、学力の低かった者が目につく。もう少し具体的に性格のかたよりを問題にするなら、非行に走りやすい生徒には、「意志が弱い・攻撃的・落ち着きがない」生徒が多い。特に、学校生活の中で目につく生徒のタイプは、自己顕示性が強く、かつ、努力をするのが嫌いという二面性をもつ生徒であった。

次に、学力の低い者に非行化した例が多かった。学校生活は、どうしても勉強が中心となるため、学力の低い者がとかく疎外されがちになるのが、その背景であろう。例えば学力が不振な生徒たちは、互いに集まって、満たされない気持ちを語り合う。そうした生徒たちの中で、より積極的に自分を発揮できる場を求める者たちが、さらに小さな集団を作ると非行化の可能性が増大してくる。逆に言うと、非行化した中学生の中で立ち直りやすいのは学力の高い生徒たちであった。こうした傾向は、いわゆる非行が自分に対するプライドの有無と関連していることを暗示している

なお、非行生徒を生みやすい家庭環境としては、口うるさく注意はするが、きちんとした形で叱らない家庭や、親自身が非行に対して無知というか、考え方の甘い親に多かったような気がする。また、両親が夜に勤めを持っていて、夜間の一定時間、子ども1人になる家が、非行生徒のたまり場になるケースも少なくなかった。

以上述べてきたのが、教師から見た体験的な非行の原因だが、それでは、中学生たちは非行化をどのようにとらえているのだろうか、表14に目を通してほしい。

これは、「①本人の意志の弱さ」から「⑩先生の指導不足」までの10項目について、「非行化の原因とどのくらい思うか」と生徒たちにたずね、その結果を平均値の小さい順、つまり、非行化の原因とより深く思う順に並べたものである。表中に、非行の原因と思われる語句にアンダーラインを付したので、それをたどると、それだけでも中学生が思っている



表14 非行化の原因

——本人の意志の弱さが第一——

(%)

	とても 思う	かなり 思う	少し 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
① 本人の意志が弱いからだ	34.4 └ 64.1 ┘	29.7	24.4	8.6 └ 11.5 ┘	2.9
② 家庭がつめたいからだ	24.5 └ 56.0 ┘	31.5	30.0	10.4 └ 14.0 ┘	3.6
③ 家庭のしつけがあまいからだ	23.8 └ 53.8 ┘	30.0	27.8	13.8 └ 18.4 ┘	4.6
④ 悪い友だちに誘われたからだ	21.6 └ 52.5 ┘	30.9	31.0	12.1 └ 16.5 ┘	4.4
⑤ 両親の期待が高すぎるからだ	16.4 └ 43.2 ┘	26.8	34.4	17.9 └ 22.4 ┘	4.5
⑥ 他人のことは関係ない社会だからだ	18.8 └ 40.2 ┘	21.4	30.2	21.9 └ 29.6 ┘	7.7
⑦ テストでよい点さえとればよい社会だからだ	17.2 └ 37.0 ┘	19.8	30.4	24.4 └ 32.6 ┘	8.2
⑧ 学校の授業がわからないからだ	9.2 └ 27.2 ┘	18.0	37.2	28.0 └ 35.6 ┘	7.6
⑨ 本人の学力が低いからだ	7.6 └ 21.6 ┘	14.0	31.5	32.8 └ 46.9 ┘	14.1
⑩ 先生の指導が足りないからだ	6.4 └ 17.5 ┘	11.1	29.2	41.9 └ 53.3 ┘	11.4

「非行化の原因」を、ある程度つかめるように思える。

「本人」「家庭」「友だち」「両親」「社会」「授業」「学力」「先生」と続く順から察すると、生徒たちは、「非行化の原因」としてもっとも大きいのが、本人のだらしなさであるには違いないが、それに、本人を取りまく家庭のしつけの甘さ、悪友の誘いが加わったとき、非行が始まると考えているらしい。

それに対し、学校に関係の深い項目「⑧授業がわからない」「⑨学力が低い」「⑩先生の指導が足りない」が下位を占め、「とても」あるいは「かなり」原因になると答えた者は3割を下回った。先にふれたように、我々教師は、学力の低い者が非行化する可能性が強いと考えているが、低学力を原因としてあげた者は、「少し思う」を含めても、5割を少し上回る程度だった。自分は努力して勉強しているのに、非行生徒は何も努力しないから駄目なのだ。努力をしない本人が悪いというのであろうが、なお、「⑥他人のことは関係ない社会」や「⑦テストでよい点さえとればよい社会」に原因を求める態度は、学校に関係する項目より上位を占めている。

しかし、そうした社会のあり方より、やはり問題になるのは、本人のだらしなさだというのである。

高校進学を目前にした中学生たちは、我々教師が考えても、偏差値の渦にまき込まれ、必ずしも精神的に豊かな中学生生活を送っているとは言い難い。したがって、非行が良いというのではないが、非行へ走る気持ちは理解できなくはない。しかし、中学生たちは、そうした悪い条件の中で精一杯に努力して、非行に走らないようにしている。それだけに、非行化した仲間に「だらしが無い」という腹立たしさを、より一層感じるのであろう。

## IV章 自分とのかかわり



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

それでは、非行生徒に対して厳しい見方をしている中学生、非行化の原因を本人の意志の弱さに求めている中学生は、身近にいる非行化した友だちとのつきあいをどのようにしているのでしょうか。また、自分が非行に走らないのはどのような規制力が働いているからだと思っているのだろうか。さらに、まわりにいる人々と自分とのかかわり方をどう考えているのか。そうした、生徒本人と非行との関連を考えてみよう。

### 1 非行生徒とのつきあい

非行生徒たちは、休み時間になると集まることを義務づけられているかのように、便所の前、廊下のはずれに集合する。そこで何かを話し合い、ふざけあって、数分後には各自の教室に散って行く。彼らが、休み時間や昼休み、放課後などの自由な時間に、自分の教室で、また他の場所でも、一般のクラスメートとともに過ごすことは、極めてまれだ。そうした光景に接しているだけに、非行生徒が孤立するのは、彼らが自分から離れていってしまうのか、それともクラスメートが相手にしなくなったのかが、気がかりであった。

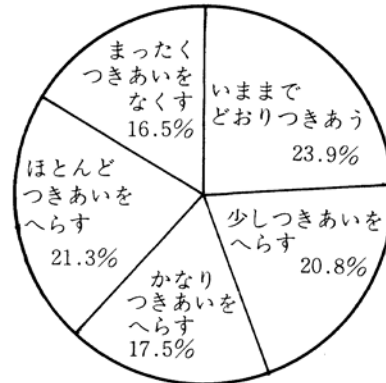
#### (1) 非行生徒とのつきあいを減らすのか

「あなたの親しい友だちが最近、非行グループに入ってしまったとします。あなたはその友だちとのつきあいをどうしますか。」という質問を試みた。すると、「つきあいを変えない」者が全体の約4分の1で、程度の差こそあれ「つきあいを減らす」者が4分の3を占めた。

非行生徒にとって、いままで友だちであった4人のうち3人までが、何かよそよそしい態度をとり始めるとなると、非行生徒は教室外に気安めの場を求めざるをえない。そうしたことが、休み時間にみられる「非行生徒の全員集合」状況をもたらすのであろうが「い

図2 非行生徒とのつきあい

—そのままつきあうのが1/4—



ままでどおり」つきあう理由、また、「つきあいを減らす」理由は、もう少し先でふれることにして、ここでは「いままでどおり」つきあうと答えた23.9%の生徒が、どんな生徒なのか、その属性を考えてみることにしたい。

## (2) つきあいを減らさない集団

表15・16・17に○をつけたので明らかなように、友だちが非行化しても、「いままでどおり」つきあうと答えた生徒は「自分の家にとっても不満があり」(表15)、「勉強の成績が悪い」(表16)、「流行にとっても敏感な」(表17)グループであった。いうまでもなく、これらは、非行化しやすい生徒の属性と類似している。つまり、非行化した生徒とつきあいを減らさないと答えた生徒は、現実に非行化しているかどうかはともあれ、非行化する潜在的な下地を持っているだけに、友だちの気持ちがわかり、同調行動をとるのであろう。しかし、こうした態度は、外見的には、非行生徒がまたひとり増える結果を招きやすい。

表15 「自分の家に対する不満」と「つきあう回数」

		非行生徒とのつきあいを (%)					平均値
		1 いままでどおり	2 少しへらす	3 かなりへらす	4 ほとんどなくす	5 まったくなくす	
自分の家に対する不満	とてもある (N=122)	45.0	18.9	11.5	12.3	12.3	2.28
	かなりある (N=134)	34.3	20.9	17.9	18.7	8.2	2.46
	少しある (N=531)	27.7	24.3	18.6	17.7	11.7	2.61
	あまりない (N=747)	16.5	21.4	19.8	26.0	16.3	3.04
	まったくない(N=496)	22.2	16.5	14.5	21.8	25.0	3.11

表16 「勉強の成績」と「つきあう回数」

		非行生徒とのつきあいを (%)					平均値
		1 いままでどおり	2 少しへらす	3 かなりへらす	4 ほとんどなくす	5 まったくなくす	
勉強の成績	悪い (N= 102)	43.2	15.7	10.3	17.3	13.5	2.42
	やや悪い(N= 264)	22.2	25.5	15.4	20.7	16.2	2.83
	ふつう (N=1075)	21.3	21.2	19.1	21.8	16.7	2.91
	ややよい(N= 396)	20.8	18.6	22.0	24.6	14.0	2.92
	よい (N= 185)	26.6	16.7	13.4	15.7	27.6	3.01

表17 「流行に対しての敏感さ」と「つきあう回数」

		非行生徒とのつきあいを (%)					平均値
		1 いままで どおり	2 少しへらす	3 かなり へらす	4 ほとんど なくす	5 まったく なくす	
流行に 対して の敏感 さ	とても敏感 (N=123)	43.1	20.3	7.3	13.0	16.3	2.39
	かなり敏感 (N=255)	31.8	17.6	19.2	20.8	10.6	2.61
	少し敏感 (N=796)	21.4	23.0	19.7	21.6	14.3	2.85
	あまり敏感でない (N=655)	17.6	22.4	18.9	23.2	17.9	3.01
	まったく敏感でない(N=190)	31.0	11.1	9.5	21.1	27.3	3.03

### (3) いままでどおりにつきあう理由

図3は、「いままでどおり」つきあうと回答した者(全体の4分の1)に、つきあう理由を6項目の中から1項目を選択させた結果である。いままでどおりつきあう理由の第1は「非行グループの仲間のつきあいと自分との友だち関係は別」(42.8%)であった。これに、第2位の「なお悪くなるのを防ぐため」と第3位の「自分は悪くならない自信があるから」を加えると、非行予備軍が非行群へ組み入れられる気持ちがわかるような気がする。

つまり、トータルな人間としてとらえたとき、非行生徒も人間的な良さを数多く備えている。そうした面にとらえる限り、非行生徒は決して非行生徒でなく、むしろ、友だちから孤立しがちなために、人なつこく、親切ですらある。だから、非行群はともあれ「あいつとおれとのつき合いは別」というつもりで、それに初めのうち、友だちの非行化を防ぎたい気持ちやら、中学生らしい正義感も手伝って、非行化した友だちとのつきあいをやめない。しかし、結果としては、そのうちに非行文化にまき込まれ、いつのまにか、本人自身が、仲間から「非行生徒」のレッテルをはられることになりやすいのである。

図3 いままでどおりつきあう理由

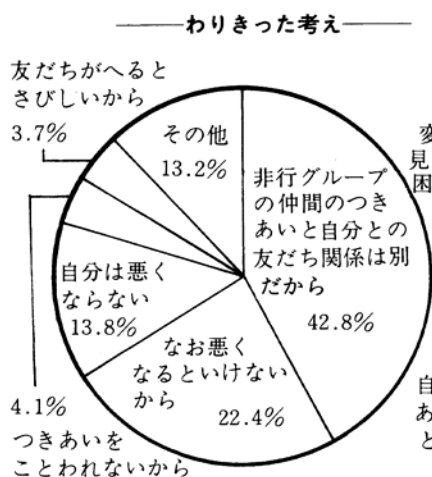
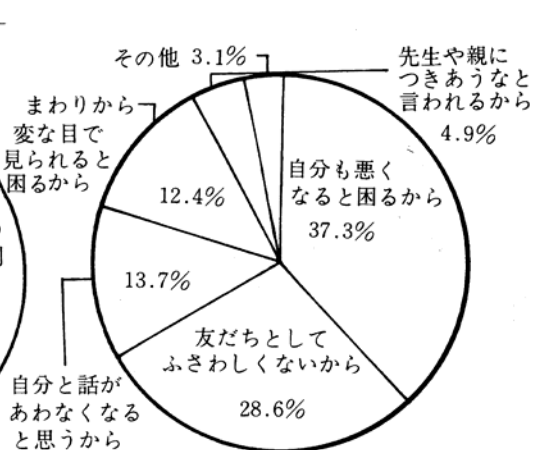


図4 つきあいを減らす理由



### (4) つきあいを減らす理由

このサンプルの中学生は、それぞれ3～4校の小学校からまともに来てきている。したがって、クラスメートの中にも、そうしたヒストリー(生育歴)を、我々教師以上に知って

いる可能性が高い。そうでなくとも、クラスのメンバーとして、我々より身近に非行生徒と接している中学生が、非行生徒とのつきあいを減らす理由は何なのだろうか。

図4は、「つきあいを減らす」と回答した者（全体の4分の3）に、6項目の理由を示して、その中から1項目を選択させてみた。

つきあいを減らす理由の第1位は、「自分も悪くなると困る」（37.3%）という自分が非行化することへの恐れであった。次いで、「友だちとしてふさわしくない」（28.6%）が加わる。中学生の反応にしては、自分を守る態度が表に出すぎていて友情のかけらも感じられないようにも思われるが、生徒たちは、内心、「自分は、非行化しない」と自信を持って言い切ることができないのではないか。つまり、ふと、非行へ走りたくなる自分に気づき、懸命に自分を規制しているのであろう。もちろん、教師としては、非行に走りがちな友を引き戻すような強さを生徒たちに望みたいが、精神的に、まだ未成熟な中学生たちに、そこまで期待するのは無理な注文なのかもしれない。

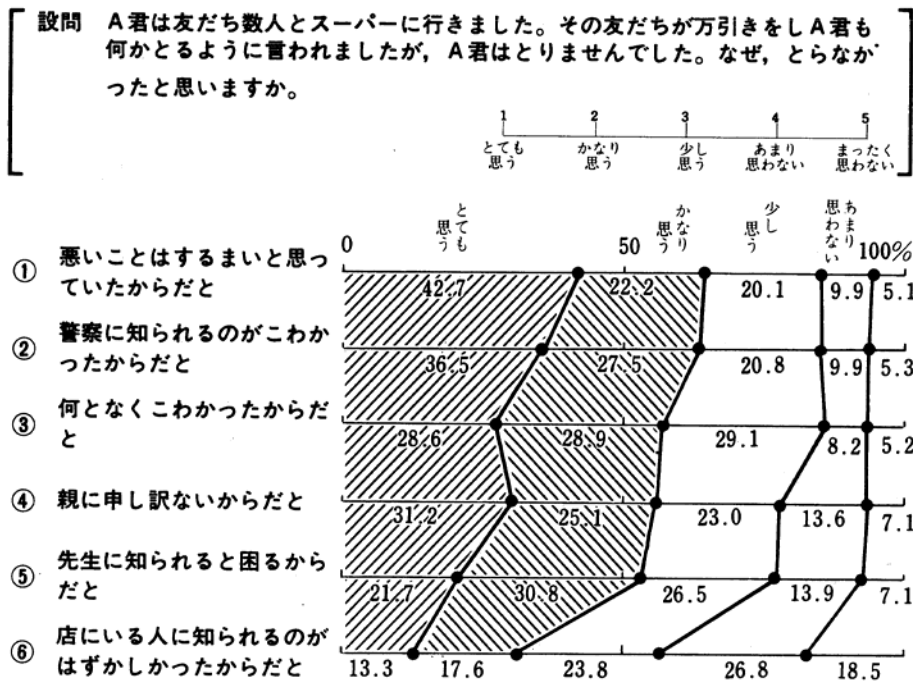
## 2 非行に対する規制力

スーパーで買い物をするときのことを思い出してほしい。手にとりやすいように並べられている品物、出口で代金を計算するパンチャー。数少ない監視員。買い物に気を奪われている人々。万引きをするには絶好の場所である。万引きが遊戯化してきたと言われ、万引きをしたことのある者は多いと聞く。所轄警察でも、教師や親が知っている以上に万引きは多いという意見のようだが、この調査でも「中学生100人中、万引きをしている子は、12人以上」と回答した者は30%に達していた。（表5の③）

しかし、ここでは、万引きという行為そのものではなく「一緒にスーパーに行った友だちが万引きをし、自分もするよう言われたが、やらなかった」という設定で、万引きをしなかった理由をたずね、非行に対する規制力を明らかにしたいと思う。（図5）

図5 非行に対する規制力

——自分の判断が第一、周囲の目は気にならない——



非行の規制力として強く働いたものは何かという観点から、図の斜線の部分「とても」「かなり」思う者の数値を見てみよう。

「①悪いことはするまい」が64.9%、「②警察に知られるのがこわい」が64.0%と、この2項目が60%台で、「③何となくこわかった」「④親に申し訳ない」と「⑤先生に知られると困る」の3項目が50%台「⑥店にいる人に知られるのがはずかしい」が30%であった。つまり、「①悪いことはするまい」という自制心と、「②警察の目」の2つが非行を規制する要因として作用しているらしい。ふと、あるいは、スリルを求めて商品に手が出そうになる。そうしたとき、誘惑をたち切るのは、本人の気持ちもさることながら、警察や教師や親などの目だというのである。

## 3 人との接触

### (1) 盛り場で人に会うと思うか

調査対象の中学校から、さして遠くないところには、吉祥寺、池袋という東京の代表的な盛り場がある。生徒たちは、休日、時には、学校が終わったあと、気軽に、自転車で盛り場へ出かけて行く。生徒たちがそうした所へ出入りするのを耳にするのは、何とも心配なものだ。非行の被害を受けるのではないか、逆に、何か悪いことをするのではないかなどと、つい思ってしまう。盛り場では監視の目が届かず、先ほどの万引きの例でもわかるように、非行を阻止する力が弱まり、生徒たちが解放感をもつと思うからである。

そこで、「日曜日、盛り場に出かけたとき、次の人に会おうと思うか」という形で盛り場での目の有無をたずねてみたところ（表18）同じ学校の生徒に会おうと思う割合は、「少し」思うまでを含めると、64.5% 親しい友だち、38.1%であった。我々の予想よりは多

表18 盛り場で知人に会おうと思うか

——先生・家族には会わない——

(%)

盛り場で以下の人に会おうと	とても 思う	かなり 思う	少し 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
①同じ学校の生徒には	6.5 └ 23.2 ─┘	16.7 └ 23.2 ─┘	41.3	25.4 └ 35.5 ─┘	10.1 └ 35.5 ─┘
②親しい友だちには	5.5 └ 11.8 ─┘	6.3 └ 11.8 ─┘	26.3	38.4 └ 61.9 ─┘	23.5 └ 61.9 ─┘
③近所の人には	2.5 └ 8.5 ─┘	6.0 └ 8.5 ─┘	23.8	45.5 └ 67.7 ─┘	22.2 └ 67.7 ─┘
④先生には	4.0 └ 7.3 ─┘	3.3 └ 7.3 ─┘	12.5	32.8 └ 80.2 ─┘	47.4 └ 80.2 ─┘
⑤家族には	3.0 └ 5.8 ─┘	2.8 └ 5.8 ─┘	8.1	29.5 └ 86.1 ─┘	56.6 └ 86.1 ─┘

かった。サンプル校が盛り場に近いためかとも思われるが、少なくとも本調査に関する限り、我々の予想より、盛り場での目が行き届いているように思えた。

### (2) 中学生の非行を無視すると思うか

それでは、周囲の目にさからって、非行的な行為を行ったら、周囲の人々は、どの程度

の注意をすると、中学生たちは思っているのだろうか。

表19は、中学生がタバコをすっているのを見た人が、どんな注意を与えると思うかを、「見ないふりをするだろう」を含めた5項目から選択させた結果を示している。なお、表中のアイテムは「見ないふり」をすることが少ない順に並べたものである。もちろん、注意をする相手は「①となりのおばさん」は家の人に「②親しい友だち」は本人にと、その中学生との間柄によって異なっているが、いずれにせよ、顔見知りの間では「見ないふり」をする人は少ないと思っているらしい。見ないふりをするのが「となりのおばさん」では、

**表19 中学生への注意**

——見て見ぬふりをする人は少ない——

設問 あなたと同じ年頃の人が公園でタバコをすっているのを見たとき、次の人たちは、どのように注意すると思いますか。

(%)

	直接注意 するだろ う	家の人に 知らせる だろう	学校に知 らせるだ ろう	警察に知 らせるだ ろう	見ないふ りをする だろう
①となりのおばさん	17.4	52.2	12.8	4.9	12.7
②親しい友だち	74.6	5.5	3.1	0.5	16.3
③同じ学校の生徒	15.4	8.9	51.0	1.1	23.6
④顔だけ知っている近所の人	9.3	34.3	17.8	12.0	26.6
⑤知らない人	10.1	1.6	4.8	19.3	64.2

12.7%、「親友」で16.3%、「顔だけ知っている」人で、26.6%である。お目付役として、「となりのおばさん」は貴重な存在のようである。

しかし、生徒との間柄が「知らない人」になると、「見ないふり」をするだろうと予想する者が、64.2%に達する。たしかに、中学生らしい子が喫煙している姿を見たら、困った子だと思う反面、我々教師ならともかく、一般の人は、だまされたまま見逃すのではないか。このように考えてくると、地域の教育力といえよいのだろうか、大人たちが子どもを互いに見知っている社会の方が、非行に歯止めをかけやすいのは、たしかだと思ふ。そうした意味では、大都市に住む中学生は、そのことだけでも非行化する可能性が高いのかもしれない。

### (3) 注意の効果

しかし、今まで述べてきた項目は、注意の有無に限られていたので、さらについで、「タバコをすっている中学生が直接注意されたら、どのくらいこたえると思うか」とたずね、注意の効果を知ろうとした。

表20の中では、直接注意されても「あまり・全く」こたえないと思う者の割合に注目してみたい。親しい友だちでも、28.3%の者が、注意をしても効果がないと考えている。それが、となりのおばさんや同じ学校の生徒だと、ほぼ半分の中学生が、顔だけ知っている人だと7割近く、知らない人では8割をこす中学生が、直接注意されてもこたえないだろうと回答している。

しかし、そうした反面、「見知らぬ他人」はともあれ、となりのおばさんや同じ学校の生徒なら「ある程度」、そして「親しい友だち」なら「かなり」、注意すれば効果があるとも答えている。つまり、注意したからといって、すぐに効果があるとはいえないが、しかし、親しい身内からの忠告には耳をかすだろうという反応である。こうした面を考える

表20 注意の効果

〔設問 タバコをすっていた中学生が、下記の人たちに直接注意されたら、どのくらいこたえると思いますか〕 (%)

	とても こたえる	かなり こたえる	少し こたえる	あまり こたえない	まったく こたえない
① 親しい友だちでは	19.8 └──────────┘	24.6 └──────────┘	27.3 └──────────┘	19.6 └──────────┘	8.7 └──────────┘
② となりのおばさんでは	8.2 └──────────┘	15.1 └──────────┘	28.3 └──────────┘	29.5 └──────────┘	18.9 └──────────┘
③ 同じ学校の生徒では	5.0 └──────────┘	15.6 └──────────┘	29.5 └──────────┘	35.9 └──────────┘	14.0 └──────────┘
④ 顔だけ知っている近所の人では	3.4 └──────────┘	8.6 └──────────┘	21.3 └──────────┘	37.9 └──────────┘	28.8 └──────────┘
⑤ 知らない人では	4.8 └──────────┘	3.3 └──────────┘	7.7 └──────────┘	20.8 └──────────┘	63.4 └──────────┘

と、山村などと異なり、見知らぬ者どうしが暮らしている大都市は、規制力が欠けているだけに、非行の温床になりやすい条件を備えている。



## V章 非行の対策



※写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

これまで、いくつかの角度から非行の問題を考察してきた。そこで最後に、こうした非行現象をどうすれば減らすことができるかを、生徒に問いかけてみたいと思う。

### 1 非行を誘発するもの

青少年をとりまく環境を浄化しようという声を耳にすることが多い。強烈的な図柄のポスター、コインを入れるだけでピンク雑誌を入手できる自動販売機、つい、出入りしてしまいたくなるゲーム・センター、盛り場に限らず、住宅地にも非行化を促進しそうな誘惑は多い。

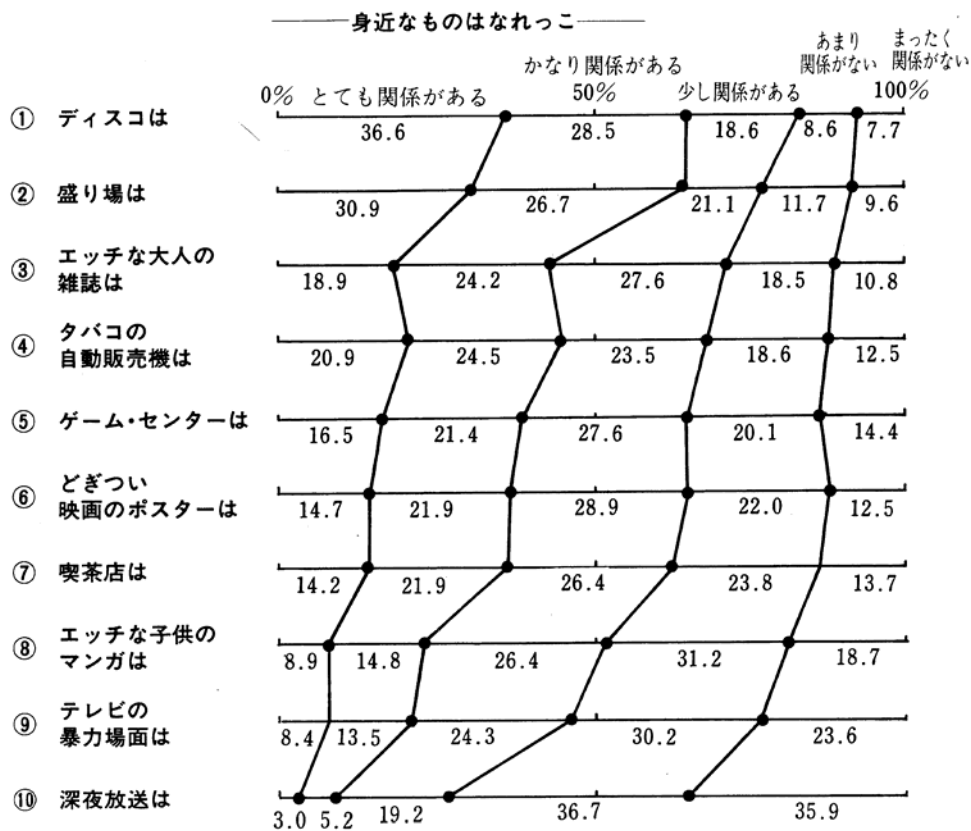
それでは、こうした環境は、中学生の非行の増加に本当に一役買っているのだろうか。中学生たちに「ディスコ」から「深夜放送」までの10項目をあげ、それらが非行の増加に関係があると思うかをたずねてみた。図6に、関係があると思っている順に項目を並べてある。

生徒たちによると、非行の増加に関係が深いものとして「①ディスコ」と「②盛り場」とがあげられている。実際に、ディスコに行ったことのある中学生は少ないと思うので、その雰囲気を想像しての回答であろう。第2位の盛り場についても、夜間、そうした場所をふらつく中学生は、それほど多くないと思われるので、これも、盛り場というイメージに対する反応かもしれない。

第3位から第8位までは、本サンプルの学区にも見られるものだが、生徒たちの反応は「とても関係がある」とも「関係がない」ともいえない、にとどまっていた。つまり、そうした環境は、非行の増加に間接的な影響があるにしても、だからといって、ストレートに非行に結びつくものではないというのが、生徒たちの考え方ようであった。

さらに、⑨の「暴力場面」や⑩の「深夜放送」については、「関係がない」が、それぞれ53.8%、72.6%に達している。現代に生きる生徒たちは、いずれ実社会の中で暮らさね

図6 非行の増加に関係あるもの



ばならない。したがって、程度にもよろうが、いわゆる俗悪なものを生徒のまわりから切り離し、大人たちから見た善良な文化の中で、純粹培養の形で生徒たちを育てるのは、精神的にもろい子どもを育てることになりやすい。そうした意味では「エッチなマンガ」や「ゲーム・センター」があっても、非行化しないものはしない、という生徒たちの反応は、現代の子どもたちのもつたくましい一面をかいま見る思いがした。

## 2 非行生徒がよくなる指導

非行化へ走るのはやさしい。しかし、立ち直るのは、きわめて難しいといわれる。立ち直ろうとしても、クラスメートは、依然として白い目で見るとし、そうした一方、非行仲間たちも、折りあるごとに仲間から足を洗わせまいとする。したがって、我々教師が見ていても、ひとりの生徒が更生するのみに、何人かのクラスメートの支えがみられることが多い。

そこで、生徒たちに、非行生徒が立ち直るために教師としてすべきどんな方法が、効果があると思うかたずねてみた。

表21は「あなたは、先生が、非行グループに入ってしまった中学生をどのように指導すれば、よくなると思いますか」の設問で「①その生徒の話をきいてあげる」から「⑩少し悪いことをしても見逃してあげる」までの10項目を評価させ、その結果を平均値の小さい順に並べたものである。

項目を追ってみよう。「①その生徒の話をよくきいてあげる」が、他を大きく引き離している。非行化するの本人の意志が弱いからだと言ひ、自分自身は非行生徒とのつきあ

いを減らすと答えた中学生たちが、教師に「話を聞いてやれ」というのは、首尾一貫して  
いない気もしないではないが、ともあれ、生徒たちは非行生徒をよくするためには「話を  
聞いてやり」「②常にはげまし」「③仕事をきちんとさせること」が必要だと答えている。  
それに対し、「⑤厳しくおこる」以下の項目については、効果がないと思う者が、6割

表21 非行生徒のよくなる指導

—根気強い指導が大切— ○は最大値 (%)

非行生徒をどうすればよいか	とてもよくなるだろう	かなりよくなるだろう	少しよくなるだろう	あまりよくなるまいだろう	まったくよくなるまいだろう
① その生徒の話をよくきいてあげると	22.4 └ 56.8 ┘	34.4	26.5	9.6 └ 16.7 ┘	7.1
② 常にはげましてあげると	15.1 └ 36.7 ┘	21.6	29.1	19.9 └ 34.2 ┘	14.3
③ 仕事をきちんとやらせると	10.8 └ 32.5 ┘	21.7	34.4	22.6 └ 33.1 ┘	10.5
④ 親と子を一緒に指導すると	10.7 └ 30.9 ┘	20.2	32.0	22.8 └ 37.1 ┘	14.3
⑤ 厳しくおこると	5.7 └ 14.5 ┘	8.8	22.8	40.4 └ 62.7 ┘	22.3
⑥ みんなの前でおこると	4.5 └ 15.0 ┘	10.5	20.2	31.8 └ 64.8 ┘	33.0
⑦ 体罰を加えると	4.2 └ 11.4 ┘	7.2	20.0	35.9 └ 68.6 ┘	32.7
⑧ おおぜいの先生でおこると	4.1 └ 13.1 ┘	9.0	15.6	33.4 └ 71.3 ┘	37.9
⑨ 長い時間お説教すると	2.3 └ 7.3 ┘	5.0	16.5	39.9 └ 76.2 ┘	36.3
⑩ 少しの悪いことを見のがしてあげると	2.6 └ 6.9 ┘	4.3	10.2	38.8 └ 82.9 ┘	44.1

を越えている。

しかし、十数年来、非行生徒に接してきた我々の体験からすると、「厳しい態度で臨んだ」方が「その生徒の話をよく聞いてあげる」より効果があった場合が多かったように思える。非行化した生徒に親身の愛情をもっていれば、叱責の声も荒立ってくる。教師という立場を離れ、ひとりの人間として非行生徒を強くたしなめる。そうしたぎりぎりの状況のもとでの人間としての対決が、非行生徒を救うことが多いのである。それに対し、「その生徒の話をよくきいてあげる」のは、非行化した者に対してではなく、ごく日常の場面で、一般の生徒に対して有効性を発揮する方法である。

こう考えてくると、表21の結果は、多くの生徒が非行生徒の心理を知らず、自分たちの気持ちを吐露したものと考えられよう。

### 3 まとめにかえて

我々の十数年の教職経験に照らしてみても、ひとつの学校において、非行の波は周期を

図7 非行生徒をうらやましいと思う気持ち

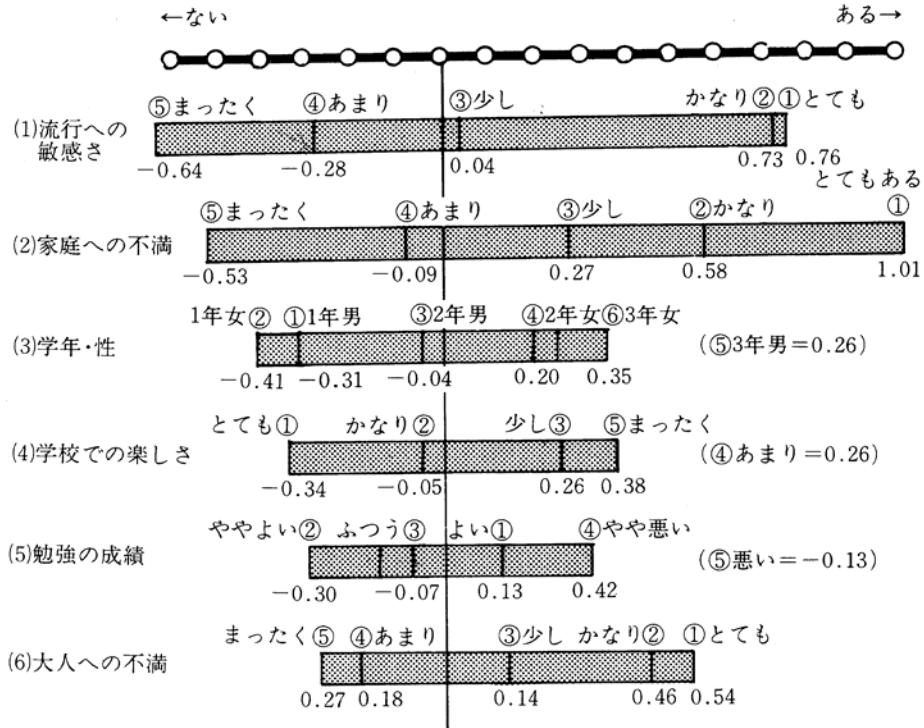


図8 非行生徒をカッコよいと思う気持ち

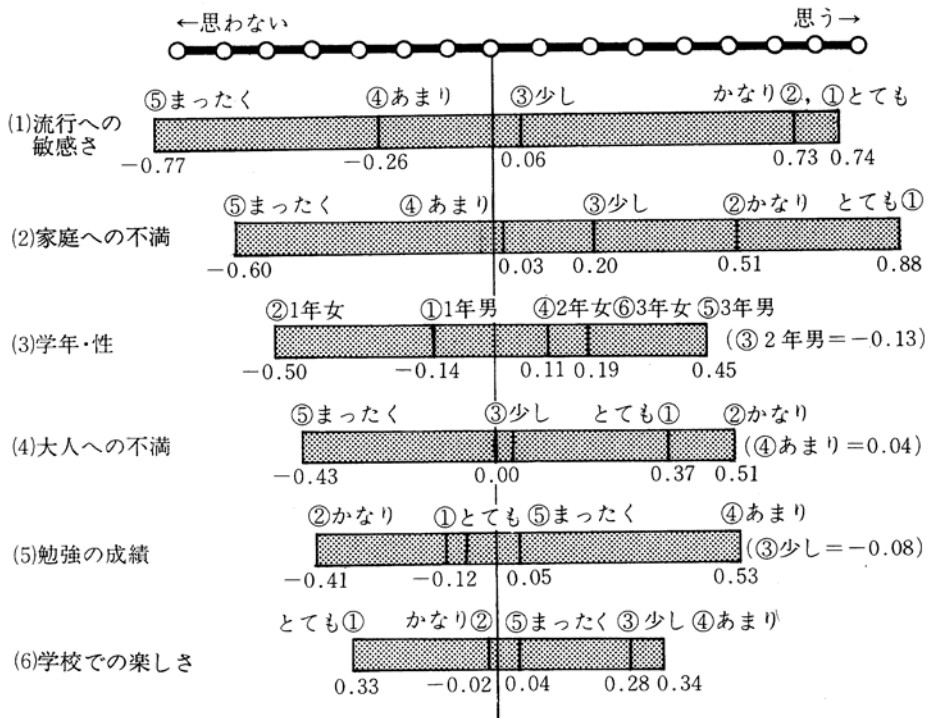


図9 非行生徒になる可能性

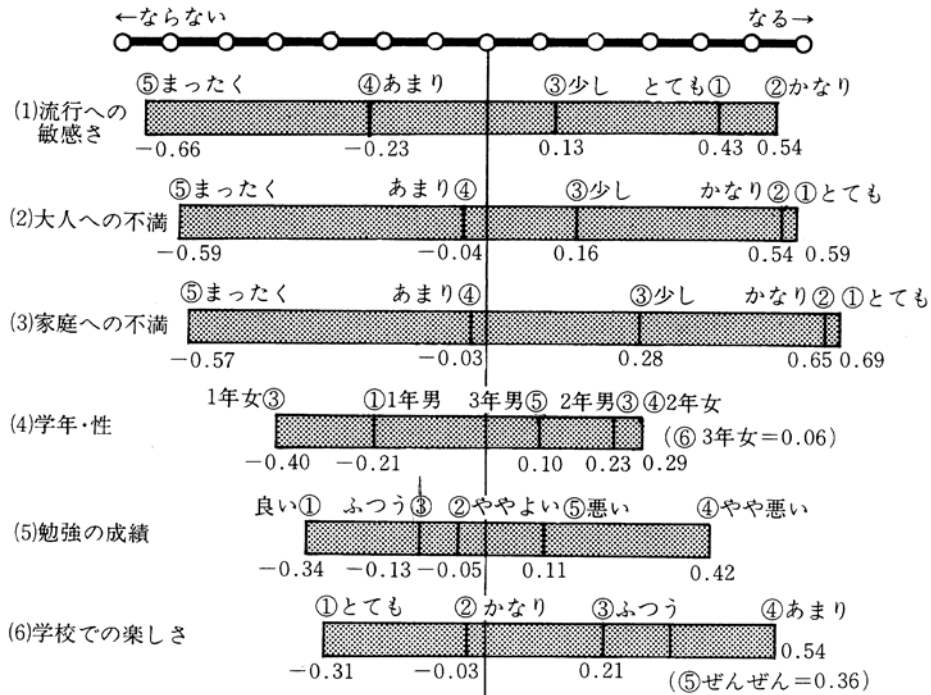
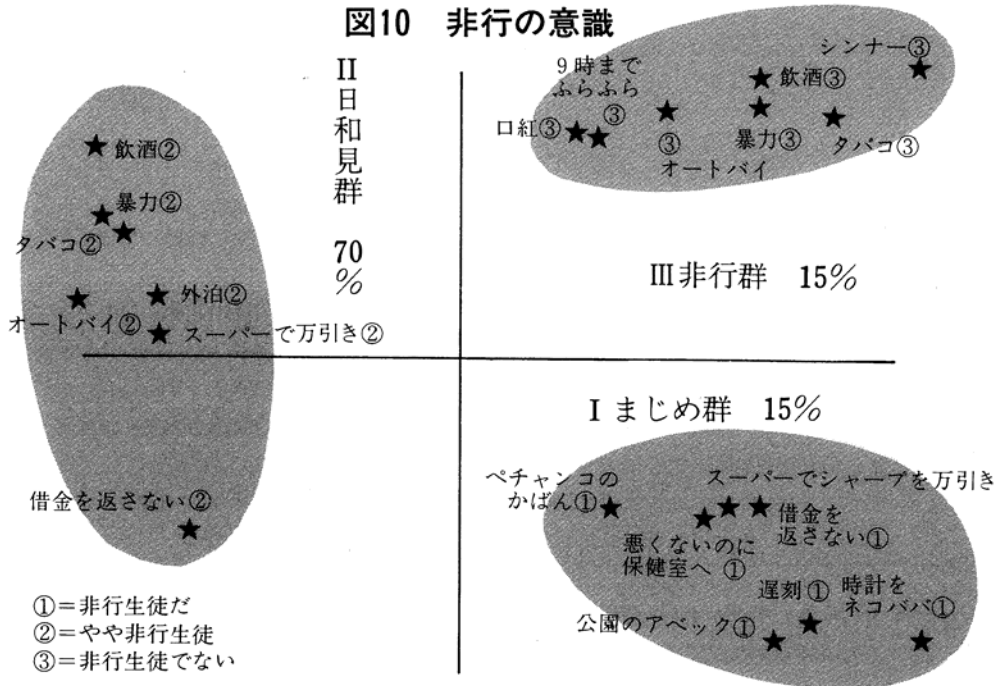


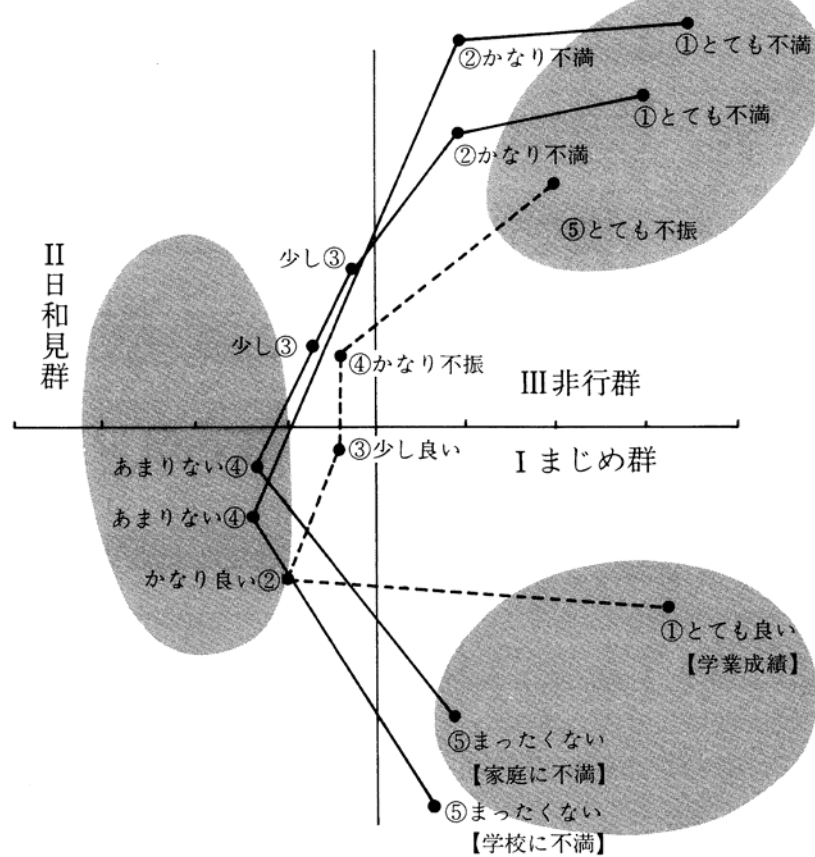
図10 非行の意識



もって繰り返されているような印象を受ける。いま平穏だからと安閑としてはいられない。突如荒れ始め、種々手を尽くしてもおさまらず、ひとつひとつの事件を追うのに精一杯という事態が、いつまたやって来るかもしれないのである。教師と父母、そして生徒が協力して、荒れた学校を立て直そうと1～2年努力しているうちに、学校が静けさを取り戻していく。

この調査を実施した学校は、たまたま現在、穏やかな時期を迎えている。そうした現状を

図11 非行の見方についてのサンプル・スコア



反映して、本調査でもさほど強烈な結果は出てこなかったのかもしれない。しかし、非行が多発する時期に調査を行ったら、違った結果が出てきた可能性も強い。

そうした状況をふまえて、今まで指摘してきたことを、もう少し整理して提示することにした。

図7は「非行生徒をうらやましい」と思う気持ちの有無を、数量化Ⅱ類を使ってまとめたものである。Ⅱ類については、本モノグラフの他の号で、読み取り方にふれているので、簡単にしたいが、中央の直線より右側、つまり、プラスの数値が大きくなるほど、「うらやましい」と思う気持ちが強いことを、逆に、左側、マイナスの数値が大きいかほど「うらやましい」と思わないことを意味する。

すでに、表8でふれたように非行生徒を「うらやましい」と思う生徒は「少し」を含めても、全体の8.9%にすぎないが、その1割弱を支える属性は

- 家庭生活に不満がある ((2)－①)
- 大人の社会全体に不満がある ((6)－①)
- 学校がまったく楽しくない ((4)－⑤)
- 流行に敏感 ((1)－①)
- 勉強の成績やや不振 ((5)－④)

のとおりであった。この結果は、非行行為の背景が、予想される以上に、根が深いことを暗示している。非行へ走ると仲間から白い目でみられるから不適応状態になる。あるいは、内面的に多くの仲間たちと異なる価値観を持っていたから不適応へ走るのかもしれない。

いずれが原因であるにせよ、非行生徒をうらやましいと思う者には、家庭にも、学校にも、そして、社会全体に対しても、満たされない気持ちを抱いているものが多い。それに学業が不振ぎみの状況が加わると、生徒たちの住む今の社会にあきたりなさを感じ、新しい変化、つまり流行に敏感になる。

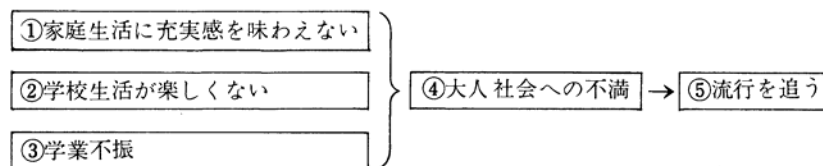
こうした状況は、図8の「非行生徒をかつこよいと思う気持ち」の有無にも、図7と、ほとんど同じ形であらわれている。この場合もそうした気持ちを持つ生徒は、全体の15%（表8）にすぎないが、家族や学校に、まったくといっていいほど充足感を見出していないタイプである。

さらに、図9は自分自身が非行生徒になる可能性があるかどうかをたずねたものだが、非行へ走る可能性を認めている生徒は、①学校、②家庭、そして、③大人の社会に強い不満を持ち、④学業不振ぎみの、⑤流行に敏感に反応するタイプであった。もちろん、図7や図8から明らかなように、彼らは、非行生徒を「かつこよい」と思い「うらやましい」とも感じている生徒である。

これらのデータを見ていて、非行とは、その生徒の置かれている状況から脱出を図った「結果としての行為」ではないかと思うようになった。

数量化Ⅱ類は、サンプル・スコアを加算できる性格を持っている。その特性を生かして試算するなら、家庭（(3)−①0.69）と学校（(6)−④0.54）に不満があり、大人の社会にいらだちを覚え（(2)−①0.59）これに、学業不振ぎみ（(5)−④0.42）の条件が加わると、その子のサンプル・スコアは、プラス2.24となり、その子が非行へ走る確率はきわめて高い。というより、すでに非行化しているとみた方が妥当であろう。しかし、同じ学業不振ぎみの子でも、温かい家庭を持ち（−0.57）、その家庭を通して、社会への不満をやわらげれば（−0.59）、たとえ、学校で充足感を味わえなくとも、サンプル・スコアは、マイナス1.08となり非行へ走る可能性は、かなり薄いと考えられる。

図9の6つのアイテムのうち(2)の「大人への不満」は家庭や学校で満ち足りた生活を送っていれば不満を感じず、逆に、不適応を起こしていれば、不満がつのだと思われるので、非行を直接促進する一次的な要因からははずすのが妥当であろう。また、流行への敏感さは、閉鎖状況から脱出しようとするメカニズムであるから、これも結果としての要因としてとらえてみたい。さらに、学年・性も、1年生は、中学へ入学したて、3年生は進学を控えて、すでに非行化している生徒はともあれ、これから非行化する生徒は少ないと思われるので、この条件をはずすと、非行化のメカニズムは、下記の



ようなプロセスで生じると考えられる。

つまり、①暗い雰囲気の家、②学校へ行っても、親しい友だちが少なく、楽しくない、③学業不振の3つが、三重苦となって相乗されると、大人の社会に不満をつのらせ、2年生になると、非行へ走りやすい。そして、現象的には、新しいものを追いかけるといような行動に出るのである。つきつめていけば、①家庭、②友だち、③成績の3つのうち、三者のすべてに充足感を持ってなければ、非行へ走る確率は、極めて高く、二者に充足感を味わえない場合でも、かなり高いと考えられる。

なお、図10に、数量化Ⅲ類を使って、生徒を分布させた結果を示したが、非行に走って

しまうと、シンナーや飲酒、喫煙、オートバイ、暴力行為などを、非行と思わない態度が育ってくる。ここまで来てしまったのでは、手遅れである。なお、この図の中で、もう一つ注目されるのは、非行群とまじめ群が、それぞれ15%程度にすぎない点で、残りの7割の生徒は、非行に日和見的な態度を示している。つまり、まじめ群のように、「拾った時計をネコババしたら非行だと思う」潔癖さはなく、かといって、「シンナーをすっても非行とはいえない」と、非行群のようにひらき直りもせずに、オートバイに乗ったり、スーパーで万引きをするのは「やや非行」、という主体性の欠けた判断をしている。彼らは、いわば非行中間層で、まじめ群と非行群の谷間にただよっている。もちろん彼らは温かい家庭に生まれ、学業成績もまずまずで、学校に不満も少ないから(図11)、今のところただちに非行化するとはいえない。しかし、こうした生徒たちにしたところで、仮に、家庭が崩壊したら、そして学校の雰囲気が悪化したら、非行へ走らないとはいえないのである。

そろそろ、まとめに入ろう。本調査のサンプルは学校そのものが比較的安定していたことも手伝って、非行化の可能性の強い生徒は15%前後にすぎなかった。しかしそうした生徒は、家庭、友だち、成績の三者に充足感を味わえずに非行へ走ろうとしているのであるから、非行そのものよりも、彼らに充足感を与える場をどのように作り出していくのが急務となろう。

近年、学校の性格をめぐる議論がさかんだが、学校を生きがいの託せる場へ再生させることが、非行防止の観点からも重要であろう。それと同時に、思春期の中学生にとって、情緒的に安定した家庭の存在がなによりも大切であることも痛感した。そして、生徒たちが、家庭、そして、学校で、充足した生活を送ることができるなら、7割の日和見群も、非行化せずに、健全な成長をとげられよう。

「非行化した生徒」は、いわば、氷山の一角で、その背後に多くの予備群が控えている。したがって、非行をそれだけ切り離して論ずるのはあまり有効とはいえない。家庭、学校、地域の三者が連帯して、住みよい生活環境を作ることが、遠回りに思えても非行を防ぐための最良の近道ではないだろうか。



## 調査票見本

1. あなたは、次のようなことをしている中学生が非行少年・少女になる可能性が、あると思いますか。

	〔非行少年・少女になる可能性がある〕				
	とても 思う	かなり 思う	少し 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
(1) ベチャンコにつぶしたカバンで登校する中学生を	-----				
(2) 髪にパーマをかけたり、染めたりしている中学生を	-----				
(3) よく学校に遅刻する中学生を	-----				
(4) 授業中、こっそりガムをかむ中学生を	-----				
(5) 金づかいのあらい中学生を	-----				
(6) ずる休みをする中学生を	-----				
(7) 学校の物をこわす中学生を	-----				
(8) 太いズボンや長いスカートで登校する中学生を	-----				
(9) ひたいにソリを入れている中学生を	-----				
(10) 無断で友だちの体操着を借りる中学生を	-----				
(11) たいして悪くないのに保健室に行く中学生を	-----				
(12) 評判のよくない卒業生とつきあっている中学生を	-----				
(13) 夜の9時頃まで街をぶらつく中学生を	-----				
(14) 遊びに行くとき、口紅、マニキュアをつける中学生を	-----				
(15) いたずら電話をかける中学生を	-----				

2. (1) あなたと同じ年頃の人が公園でタバコをすっているのを見たとき、次の人たちはどのように注意すると思いますか。右の「注意のしかた」のらんから選んで番号で答えてください。同じ番号は何回使ってもかまいません。

- ① 親しい友だちは →
- ② 同じ学校の生徒は →
- ③ となりのおばさんは →
- ④ 顔だけ知っている近所の人 →
- ⑤ 知らない人は →

注意のしかた

1. 直接、注意するだろう
2. 家の人に知らせるだろう
3. 学校に知らせるだろう
4. 警察に知らせるだろう
5. 見ないふりをするだろう

(2) タバコをすっていた中学生が、上記の人たちに直接注意されたら、どのくらいこたえると思いますか。

	とても こたえる と思う	かなり こたえる と思う	少し こたえる と思う	あまり こたえな いと思う	まったく こたえな いと思う
① 親しい友だちでは	-----				
② 同じ学校の生徒では	-----				
③ となりのおばさんでは	-----				
④ 顔だけ知っている近所の人では	-----				
⑤ 知らない人では	-----				

3. あなたが、日曜日、盛り場に出かけたとき、次のような人たちに会おうと思いますか。

	とても 思う	かなり 思う	少し 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
(1) 親しい友だちには	-----				
(2) 同じ学校の生徒には	-----				
(3) 近所の人には	-----				
(4) 家族には	-----				
(5) 先生には	-----				


4. A君は友だち数人とスーパーに行きました。その友だちが万引をし、A君も何かとるようになされましたが、A君はとりませんでした。なぜとらなかったと思いますか。

- |                              |           |           |          |             |              |
|------------------------------|-----------|-----------|----------|-------------|--------------|
|                              | とても<br>思う | かなり<br>思う | 少し<br>思う | あまり<br>思わない | まったく<br>思わない |
| (1) 何となくこわかったからだ             | -----     |           |          |             |              |
| (2) 店にいる人たちに知られるのがはずかしかったからだ | -----     |           |          |             |              |
| (3) 親に申し訳ないと思ったから            | -----     |           |          |             |              |
| (4) 先生に知られると困るからだ            | -----     |           |          |             |              |
| (5) 警察に知られるのが、こわかったからだ       | -----     |           |          |             |              |
| (6) 悪いことは、するまいと思っていたからだ      | -----     |           |          |             |              |

5. あなたの親しい友だちが、最近、非行グループに入ってしまったとします。

(1) あなたは、その友だちとのつきあいをどうしますか。

- |                     |                    |                     |                      |                      |
|---------------------|--------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| いままで<br>どおり<br>つきあう | 少し<br>つきあいを<br>へらす | かなり<br>つきあいを<br>へらす | ほとんど<br>つきあいを<br>なくす | まったく<br>つきあいを<br>なくす |
| -----               |                    |                     |                      |                      |

(2) ① 上の質問で「1.いままでどおりつきあう」と回答した人は、その理由を1つだけ選んで番号で答えてください。 → 

理由

1. 自分は悪くならない自信があるから	5. 非行グループの仲間のつきあいと自分との友だち関係は別だから
2. 友だちがへるとさびしいから	6. その他 ( )
3. つきあいをことわることができないから	4. なお悪くなるといけないから

②(1)の質問で「2.少しつきあいをへらす」から「5.まったくつきあいをなくす」のうちのどれかに回答した人は、その理由を1つだけ選んで番号で答えてください。

理由

1. 友だちとしてふさわしくないから	4. 自分と話があわなくなると思うから
2. 自分も悪くなると困るから	5. 先生や親につきあうなといわれるから
3. まわりから突に見られると困るから	6. その他 ( )

(3) 非行グループに入ってしまった友だちは、毎日どのような気持ちで過ごしていると思いますか。

- |                           |                     |                     |                    |                      |                       |
|---------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|
|                           | とても<br>思っている<br>だろう | かなり<br>思っている<br>だろう | 少し<br>思っている<br>だろう | あまり思<br>っていない<br>だろう | まったく<br>思っていない<br>だろう |
| ① 心の中では、まじめになりたいと         | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ② 高校に入りたいと                | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ③ 何をやっても変な目でみられ、差別されていると  | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ④ 非行グループの仲間といえると安心できると    | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑤ 中学をはやく卒業したいと            | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑥ 自分の問題だから、かまわなくてもいいと     | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑦ 自分のことを、もっとわかってもらいたいと    | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑧ たいして悪いことでもないのにすぐ先生がおこると | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑨ みんなは、きゅうくつな生活をよくがまんしている | -----               |                     |                    |                      |                       |
| ⑩ 自分がやっていることは、たいして悪くないと   | -----               |                     |                    |                      |                       |

(4) あなたは、先生が、その生徒をどのように指導すれば、よくなると思いますか。

- |                |                    |                    |                   |                     |                           |
|----------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|---------------------------|
|                | とても<br>よくなる<br>と思う | かなり<br>よくなる<br>と思う | 少し<br>よくなる<br>と思う | あまりよ<br>くなく<br>思わない | まったく<br>よくなる<br>と思わ<br>ない |
| ① きびしくおこると     | -----              |                    |                   |                     |                           |
| ② おおぜいの先生でおこると | -----              |                    |                   |                     |                           |
| ③ 体罰を加えると      | -----              |                    |                   |                     |                           |

- ④ 長い時間、お説教をすると \_\_\_\_\_
- ⑤ みんなの前でおこると \_\_\_\_\_
- ⑥ 親と子を一緒に指導すると \_\_\_\_\_
- ⑦ その生徒の話をよくきいてあげると \_\_\_\_\_
- ⑧ 少しの悪いことは見のがしてあげると \_\_\_\_\_
- ⑨ 常にはげましてあげると \_\_\_\_\_
- ⑩ 仕事をきちんとやらせると \_\_\_\_\_

6. 次のようなものは、中学生の非行が増えることに関係がありますか。

- |                  | とても<br>関係がある | かなり<br>関係がある | 少し<br>関係がある | あまり<br>関係がない | まったく<br>関係がない |
|------------------|--------------|--------------|-------------|--------------|---------------|
| (1) 深夜放送は        | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (2) エッチなおとなの雑誌は  | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (3) どぎつい映画のポスターは | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (4) タバコの自動販売機は   | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (5) エッチな子供のマンガは  | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (6) テレビの暴力場面は    | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (7) ゲーム・センターは    | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (8) 喫茶店は         | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (9) ディスコは        | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |
| (10) 盛り場は        | _____        | _____        | _____       | _____        | _____         |

7. 非行少年・少女は、どんな原因で悪くなったと思いますか。

- |                              | とても<br>思う | かなり<br>思う | 少し<br>思う | あまり<br>思わない | まったく<br>思わない |
|------------------------------|-----------|-----------|----------|-------------|--------------|
| (1) 本人の意志が弱いからだ              | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (2) 本人の学力が低いからだ              | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (3) 家庭のしつけがあまいからだ            | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (4) 家庭がつめたいからだ               | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (5) 両親の期待が高すぎるからだ            | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (6) 学校の授業がわからないからだ           | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (7) 先生の指導が足りないからだ            | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (8) 悪い友だちに誘われたからだ            | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (9) テストでよい点さえとればよいという社会だからだと | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (10) 他人のことは関係のないという社会だからだと   | _____     | _____     | _____    | _____       | _____        |

8. よく、テレビ・新聞・ラジオなどマスコミに、中学生の非行問題がとりあげられています。あなたは、以下のことについてどう思いますか。

- (1) マスコミで問題にされているより実際の非行は
- |       | かなり多い | もう少し多い | 同じ位   | もう少し少ない | かなり少ない |
|-------|-------|--------|-------|---------|--------|
| _____ | _____ | _____  | _____ | _____   | _____  |
- (2) あなたと同学年の都会にすむ中学生100人のうち、次のようなことをしたことがある人は何人ぐらいいると思いますか。
- |                               | 【都会にすむ中学生100人のうち】 |       |       |       |       |
|-------------------------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|
|                               | 0-2人              | 3-5人  | 6-8人  | 9-11人 | 12人以上 |
| ① タバコをすったことのある中学生は            | _____             | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ② 万引をしたことのある中学生は              | _____             | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ③ 家出をしたことのある中学生は              | _____             | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ④ 他の生徒をおどしたり、暴力をふるったことのある中学生は | _____             | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑤ 自殺を考えたことのある中学生は             | _____             | _____ | _____ | _____ | _____ |
- (3) それでは、いなか（いなか）にすむ中学生100人のうちではどうですか。
- |                               | 【いなか <small>（いなか）</small> にすむ中学生100人のうち】 |       |       |       |       |
|-------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|
|                               | 0-2人                                     | 3-5人  | 6-8人  | 9-11人 | 12人以上 |
| ① タバコをすったことのある中学生は            | _____                                    | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ② 万引をしたことのある中学生は              | _____                                    | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ③ 家出をしたことのある中学生は              | _____                                    | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ④ 他の生徒をおどしたり、暴力をふるったことのある中学生は | _____                                    | _____ | _____ | _____ | _____ |
| ⑤ 自殺を考えたことのある中学生は             | _____                                    | _____ | _____ | _____ | _____ |

(4) あなたのすんでいる地域の中学生100人のうち、非行少年・少女から被害を受けた人は何人ぐらいいると思いますか。

0～2人      3～5人      6～8人      9～11人      12人以上

(5) これから先、あなたのすんでいる地域では、非行少年・少女の人数は、どうなると思いますか。

かなりふえる      ややふえる      いまと同じ      ややへる      かなりへる

9. あなたは、次のようなことをした中学生を、非行少年・少女だと思えますか。

- |                                 | 〔非行少年・少女だと〕 |           |          |             |              |
|---------------------------------|-------------|-----------|----------|-------------|--------------|
|                                 | とても<br>思う   | かなり<br>思う | 少し<br>思う | あまり<br>思わない | まったく<br>思わない |
| (1) タバコをよくすう中学生を                | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (2) 下級生からお金を借りて返さなかった中学生を       | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (3) 下級生をよび出して暴力をふるった中学生を        | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (4) お酒を友だちどうして飲む中学生を            | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (5) 校庭に落ちていた時計を持って帰ってしまった中学生を   | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (6) 無断で外泊した中学生を                 | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (7) 夜の9時頃、公園のベンチでアベックで座っている中学生を | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (8) シンナーを友だちどうしてすった中学生を         | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (9) スーパーで、シャープペンをとった中学生を        | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |
| (10) オートバイを路上で運転した中学生を          | _____       | _____     | _____    | _____       | _____        |

10. あなたは、非行少年・少女をふつうの中学生とくらべると、次のようなことがどのくらいあると思いますか。

- |                    | とてもある | ともある  | まあある  | 同じ    | あまりない | とてもない |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (1) がまん強さは         | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (2) やさしさは          | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (3) 友だちを大切にできる気持ちは | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (4) 団結力は           | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (5) 行動力は           | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (6) こつこつと努力することは   | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |
| (7) 責任感            | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ | _____ |

11. あなたは、非行少年・少女を見ていて、次のような気持ちは、どのくらいありますか。

- | 〔という気持ちが〕  |       |       |       |         |
|------------|-------|-------|-------|---------|
| とてもある      | かなりある | 少しある  | あまりない | まったくくない |
| (1) うらやましい | _____ | _____ | _____ | _____   |
| (2) にくたらしい | _____ | _____ | _____ | _____   |
| (3) 楽しそう   | _____ | _____ | _____ | _____   |
| (4) かわいそう  | _____ | _____ | _____ | _____   |
| (5) カッコいい  | _____ | _____ | _____ | _____   |
| (6) ばかみたい  | _____ | _____ | _____ | _____   |

12. さいごに、あなた自身のことについてうかがいます。

- |   |          |         |        |           |            |
|---|----------|---------|--------|-----------|------------|
| (1) あなたの家はきびしいですか。                      | たいへんきびしい | かなりきびしい | ふつう    | あまりきびしくなく | まったくきびしくなく |
| (2) あなたは、自分の家に不満がありますか。                 | とてもある    | かなりある   | 少しある   | あまりない     | まったくない     |
| (3) あなたは、自分の学校に不満がありますか。                | とてもある    | かなりある   | 少しある   | あまりない     | まったくない     |
| (4) あなたは、大人に対して不満がありますか。                | とてもある    | かなりある   | 少しある   | あまりない     | まったくない     |
| (5) あなたは、学校での毎日は楽しいですか。                 | とても楽しい   | かなり楽しい  | 少し楽しい  | あまり楽しくない  | まったく楽しくない  |
| (6) あなたの勉強の成績はどうですか。                    | よい       | ややよい    | ふつう    | やや悪い      | 悪い         |
| (7) あなたは、流行に敏感なほうですか。                   | とても敏感    | かなり敏感   | 少し敏感   | あまり敏感でない  | まったく敏感でない  |
| (8) あなたは、先生におこられるのが多いほうですか。             | とても多い    | かなり多い   | 少し多い   | あまり多くない   | まったく多くない   |
| (9) あなたは、気軽に友だちをつくれるほうですか。              | とてもつくれる  | かなりつくれる | 少しつくれる | あまりつづれない  | まったくつづれない  |
| (10) あなたは、いままでに非行少年・少女から被害を受けたことがありますか。 | とてもある    | かなりある   | 少しある   | あまりない     | まったくない     |
| (11) あなたは、非行少年・少女になる可能性がありますか。          | _____    | _____   | _____  | _____     | _____      |